

京都教育大学学則

平成16年 4月 1日 制定
令和 8年 2月16日 最終改正

第1章 総則

(目的)

第1条 京都教育大学(以下「本学」という。)は、学芸についての深い研究と指導とをなし、教養高き人としての知識、情操、態度を養い、併せて教育者として必要な能力を得させることを目的とする。

2 本学は、学校教育を中心に、生涯教育の広い分野で地域社会に貢献できる人材を育成する。

3 本学は、広く学芸を対象として、知を生み出す基礎研究、その成果を教育に活かす応用研究、基礎研究と応用研究を教育の場につなげる実践研究等の学術研究を推進する。

(自己評価等)

第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の点検及び評価の項目並びにその実施体制等については、別に定める。

(教育研究等の状況の公表)

第3条 本学は、本学における教育及び研究並びに組織及び運営の状況を公表するものとする。

(組織)

第4条 本学に次の学部、大学院及び専攻科を置く。

- 一 教育学部
- 二 大学院連合教職実践研究科
- 三 特別支援教育特別専攻科

2 大学院連合教職実践研究科は、国立大学法人京都教育大学、学校法人京都産業大学、学校法人京都橘学園、学校法人光華学園、学校法人同志社、学校法人ノートルダム女学院、学校法人龍谷大学、京都府教育委員会及び京都市教育委員会の間で締結された協定書に基づき設置するもので、本学を基幹大学とし、京都光華大学、京都産業大学、京都橘大学、京都ノートルダム女子大学、同志社大学、同志社女子大学及び龍谷大学の7大学を連合参加大学として組織する。

3 第1項第二号及び第三号に関する規則は、別に定める。

(学年)

第5条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第6条 学年を分けて、次の2学期とする。

前期 4月1日から9月30日まで。 後期 10月1日から翌年の3月31日まで。

(休業日)

第7条 学年中の休業日を、次のように定める。

- 一 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

- 二 本学の創立記念日（6月1日）
 - 三 土曜日及び日曜日
 - 四 春季休業
 - 五 夏季休業
 - 六 冬季休業
- 2 前項第四号から第六号までの期間は、年度ごとに教授会の議を経て定める。
 - 3 第1項に定める休業日のほか、教授会の議を経て、臨時に休業することがある。

第2章 学 部

第1節 修業年限等

（修業年限）

第8条 教育学部の修業年限は、4年とする。

（課 程）

第9条 教育学部の課程及び収容定員は、次のとおりとする。

課 程	入学定員	収容定員
学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	300	1,200
計	300	1,200

第2節 教育課程及び履修方法

（専 攻）

第10条 前条の各課程における教育は、次の専攻ごとに行う。

課 程	専 攻
学校教育教員養成課程	教育学専攻，幼児教育専攻，発達障害教育専攻， 国語領域専攻，社会領域専攻，英語領域専攻， 数学領域専攻，理科領域専攻，技術領域専攻， 家庭領域専攻，美術領域専攻，音楽領域専攻， 体育領域専攻

（教育課程の編成）

第11条 教育課程は、授業科目を共通教育科目及び専門教育科目に区分し、これを各年次に配当して編成するものとする。

- 2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
- 3 前項の授業は、平成13年文部科学省告示第51号の定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。（以下「遠隔授業」という。）
- 4 教育課程に関し履修方法及び単位の計算方法については、別に定める。

（単位の授与）

第12条 授業科目を履修した学生に対して試験の上、単位を与えるものとする。

（他の大学又は短期大学における授業科目の履修等）

第13条 本学が教育上有益と認めるときは、本学の定めるところにより、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない

範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学した場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第14条 本学が教育上有益と認めるときは、本学の定めるところにより、学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第15条 本学が教育上有益と認めるときは、本学の定めるところにより、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第31条に定める科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学が教育上有益と認めるときは、本学の定めるところにより、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前項により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、編入学、転入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第13条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

4 前項の規定は、外国の大学、短期大学を卒業又は中途退学し、本学に入学を許可された者について準用する。

(入学前に一定の単位を修得した者の修業年限の通算)

第16条 本学の学生以外の者が、本学の科目等履修生として一定の単位を修得した後に入学する場合において、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したと認められるとき(授業科目の履修が体系的で、正規の学生と同様の教育効果を上げていると認められる場合に限る。)は、修得した単位数、その他の事項を勘案して、本学が定める期間を修業年限に通算することができる。ただし、その期間は、修業年限の2分の1を超えないものとする。

(遠隔授業による修得単位)

第17条 第11条第3項の授業方法により修得した単位は、60単位を超えない範囲で卒業に必要な単位の中に算入することができる。

(教育職員免許の取得資格)

第18条 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 前項の規定により所要の単位を修得した者が取得できる教員の免許状の種類は、別表のとおりとする。

第3節 卒業の認定及び学位

(卒業の認定及び学位)

第19条 本学の定める修業年限を満たし、課程及び専攻ごとに定める授業科目を履修し、

- 1 35単位以上を修得した者については教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。
- 2 学長は、卒業を認定した者に対して、学士の学位を授与する。
- 3 学位に関する規程は、別に定める。

第4節 入学、編入学、転入学及び再入学

(入学時期)

第20条 入学、編入学、転入学及び再入学は、学年の始めとする。ただし、再入学については学年の中途とすることができる。

(入学資格)

第21条 本学に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 一 高等学校を卒業した者
- 二 中等教育学校を卒業した者
- 三 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- 四 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 五 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 六 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 七 文部科学大臣の指定した者
- 八 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- 九 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
- 十 本学における個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

(編入学者の入学資格)

第22条 本学に編入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 一 大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者
- 二 短期大学を卒業した者
- 三 高等専門学校を卒業した者
- 四 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（ただし、前条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- 五 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者又はこれに準ずる者
- 六 本学において、前各号に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者

(転入学)

第23条 他の大学から本学に転入学を志願する者があるときは、欠員がある場合に限り、

転入学を許可することがある。

(再入学)

第24条 本学を願いにより退学した者又は第35条第二号及び第五号の規定により除籍された者で、再入学を志願する者があるときは、再入学を許可することがある。

(出願)

第25条 入学、編入学、転入学及び再入学を志願する者は、本学が定める期日までに、別に定める書類を提出し、所定の検定料を添えて願出しなければならない。

(選考)

第26条 入学、編入学、転入学及び再入学の選考については、教授会が行う。

(入学手続き)

第27条 入学、編入学、転入学及び再入学の選考に合格した者は、本学が定める期日までに、別に定める書類を提出し、所定の入学料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、特別の事情によって入学料の納付が困難である者については、別に定めるところにより、入学料免除願又は入学料徴収猶予願の提出をもって、入学料納付の手続きを終えた者とみなすことができる。

3 前項の規定に基づき、入学料免除願又は入学料徴収猶予願を提出した者については、入学料の全額若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することがある。

(入学許可)

第28条 入学、編入学、転入学及び再入学の許可は、前条第1項の手続を行った者について、学長が行う。

(編入学者等の修業年限)

第29条 編入学、転入学及び再入学を許可された者の入学年次、既修得単位の認定並びに修業年限及び在学年限については、法令の定めるもののほか、教授会の議を経て、学長が定める。

第5節 在学、留学、休学、退学及び除籍

(在学年限)

第30条 在学年限は、8年を超えることができない。

(留学)

第31条 外国の大学又は短期大学に留学を希望する者については、教授会の議を経て、許可することがある。

2 留学期間は、1年以内とする。ただし、特別の事由があるときは、許可を得て更に1年以内に関り、その期間を延長することができる。

3 前項の留学期間は、休学の取り扱いをしないものとする。

4 前3項に定めるもののほか、留学に関して必要な事項は、別に定める。

(休学)

第32条 疾病又はその他の事由により、引き続き3か月以上学修することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。

(休学期間)

第33条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の事由があるときは、1年を限度として、休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して3年を超えることができない。

3 休学期間は、修業年限及び在学年限に算入しない。

(退学、転学)

第34条 退学又は転学しようとする者は、その事由を具して、学長の許可を受けなければならない。

(除 籍)

第35条 学生が、次の各号の一に当たるものがあるときは、学長は教授会の議を経て、除籍する。

- 一 第30条に定める在学年限を超える者
- 二 疾病その他の事由により、成業の見込みがないと認めた者
- 三 入学料の免除又は徴収猶予を申請した者のうち、免除若しくは徴収猶予が不許可になった者又は一部免除が許可になった者で、所定の期日までに入学料を納付しない者
- 四 入学料の徴収猶予が許可された者で、所定の期日までに納付しない者
- 五 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

第6節 検定料、入学料及び授業料

(授業料等)

第36条 検定料、入学料及び授業料の額及びその徴収方法については、別に定める。

- 2 授業料は、前期及び後期の2期に分けて徴収することとし、徴収時期は前期を5月とし、後期を11月とする。
- 3 前項の規定にかかわらず、学生の申し出があったときは、前期に係る授業料を徴収するときに、当該年度の後期に係る授業料を併せて徴収することができる。
- 4 入学年度の前期又は前期及び後期に係る授業料については、第2項の規定にかかわらず、入学を許可された者の申し出があったときは、入学手続きのときに徴収することができる。
- 5 特別の事情により、学年の途中で卒業する者の授業料は、当該学年の初めの月に徴収する。ただし、卒業の時期が後期の授業料徴収時期後であるときは、後期の在学期間に係る授業料は、後期の授業料徴収の時期に徴収する。
- 6 学年の途中で退学する場合は、その期の授業料は徴収する。
- 7 第46条の規定により停学を命ぜられた場合は、その期間中の授業料は徴収する。

第37条 経済的理由によって、入学料及び授業料の納付が困難であると認められ、かつ学業優秀な者、又はその他やむを得ない事情があると認められるときは、別に定めるところにより、入学料及び授業料の全部若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することができる。

第38条 既納の検定料、入学料及び授業料は返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、納付した者の申し出により当該各号に定める額を返還することができる。

- 一 入学を志願し検定料を納付した者が、2段階選抜による第1段階目の選抜で不合格になった場合 第2段階目の選抜に係る検定料相当額
- 二 入学を志願し検定料を納付した者が、出願受付後、大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願の資格がないことが判明した場合 別に定める額
- 三 入学を志願し検定料を納付した者が、出願書類を提出しなかった場合 検定料相当額

- 四 入学を志願し検定料を納付した者の出願書類が不備等により受理できなかった場合
検定料相当額
- 五 入学を志願し入学料を納付した者が、入学手続書類を提出しなかった場合
入学料相当額
- 六 前期に係る授業料納付の際、当該年度の後期に係る授業料を併せて納付した者（以下「一括納付者」という。）が、前期末卒業を許可された場合
後期分授業料相当額
- 七 一括納付者が、9月30日までに退学を申請し許可された場合及び除籍となった場合
後期分授業料相当額
- 八 一括納付者及び前期分又は後期分を納付した者が、納付期限の前月末日までに休学を申請し許可された場合
休学許可期間の授業料相当額
- 九 一括納付者及び前期分又は後期分を納付した者が、授業料免除を申請し許可された場合
授業料免除相当額
- 十 入学を許可するときに授業料を納付した者が、入学年度前の3月31日までに入学を辞退した場合
授業料相当額
- 十一 入学を志願し入学料を納付した者が、入学料免除を申請し許可された場合
入学料免除相当額

第7節 外国人留学生

（外国人留学生）

第39条 外国人で、第21条又は第22条に規定する資格を有し、本学に入学又は編入学を志願する者があるときは、選考の上、学長は教授会の議を経て、外国人留学生として入学又は相当年に編入学を許可することがある。

第40条 外国人留学生は、定員外とすることができる。

第41条 本章の規定に定めるもののほか、学生に関する規定は、外国人留学生に準用する。

第8節 科目等履修生、特別聴講学生及び研究生

（科目等履修生）

第42条 本学の学生以外の者で、本学における授業科目のうち、一又は複数の授業科目の履修を希望する者があるときは、選考の上、学長は教授会の議を経て、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生に関する規程は、別に定める。

（特別聴講学生）

第43条 他の大学又は短期大学に在学中の学生で、本学における授業科目の聴講を希望する者があるときは、本学の定めるところにより、選考の上、学長は教授会の議を経て、特別聴講学生として入学を許可することがある。

2 特別聴講学生に関する規程は、別に定める。

（研究生）

第44条 本学において、特定の専門事項の研究を希望する者があるときは、選考の上、学長は教授会の議を経て、研究生として入学を許可することがある。

2 研究生に関する規程は、別に定める。

第9節 賞罰

(表 彰)

第45条 学生として、表彰に値する行為があった者は、学長が表彰することがある。

2 学生の表彰に関する規程は、別に定める。

(懲 戒)

第46条 学生が、本学の規程に背き又はその本分を守らなかったときは、学長は教授会の議を経て、軽重に従い懲戒を加える。

2 懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

一 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

二 本学の秩序を乱し、学生の本分に著しく反した者

4 停学の期間は、在学年限に算入し、修業年限には算入しない。ただし、教授会の議を経て、これを修業年限に算入することがある。

5 学生の懲戒に関する規程は、別に定める。

第3章 学生寮

(学生寮)

第47条 学生は、希望により学生寮に入寮することができる。入寮の許可は、学長がこれを行う。

2 学生寮の管理運営に関する規程は、別に定める。

(寄宿料)

第48条 寄宿料は、入寮当月から退寮当月までの分を徴収する。

2 寄宿料の額については、別に定める。

第49条 寄宿料は所定の期日までに当月分を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、翌月以降の寄宿料について、当該年度内に徴収する寄宿料の総額の範囲内で、学生の承諾のうえ、予め徴収することができる。

3 納付方法等については、別に定める。

第50条 削 除

第51条 風水害等災害のため、寄宿料を納付することが困難な者については、別に定めるところにより、寄宿料を免除することができる。

第52条 既納の寄宿料は、返還しない。ただし、退寮の翌月以降に係る寄宿料を納付していた者については、当該寄宿料を返還する。

第4章 附属施設

(附属図書館)

第53条 本学に、附属図書館を置く。

2 附属図書館に関する規程は、別に定める。

(附属の教育研究施設)

第54条 本学に、次に掲げる教育研究施設を置く。

一 教職キャリア高度化センター

二 総合教育臨床センター

三 環境教育実践センター

四 情報処理センター

五 教育資料館

2 本学に、教育創生リージョナルセンター機構を置き、その下に前項第一号及び第二号のセンターを置く。

3 第1項第三号から第五号に定める教育研究施設及び前項の教育創生リージョナルセンター機構に関する規程は、別に定める。

(保健管理センター)

第55条 本学に、保健管理センターを置く。

2 保健管理センターに関する規程は、別に定める。

(附属学校)

第56条 教育の実験、実証並びに実習の機関として、本学に附属学校（幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校）を置く。

2 附属学校に関する規程は、別に定める。

第5章 公開講座

(公開講座)

第57条 本学に、公開講座を開設することがある。

2 公開講座に関して必要な事項については、その都度定める。

附 則

1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

2 旧国立学校設置法（昭和24年法律第150号）に基づく京都教育大学に入学し、この学則施行の際、引き続き本学に在学する者の、課程、履修方法及びその他学生の教育に関し必要な事項については、なお従前の例により取り扱うものとする。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。ただし、平成16年度以前に入学した者に係る別表（第18条関係）については、なお、従前の例による。

附 則

1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。

2 平成17年度以前に入学した者に係る改正後の学則第9条、第10条及び別表（第18条関係）については、なお、従前の例による。

附 則

この学則は、平成18年9月19日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年7月23日から施行し、平成19年7月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成20年1月21日から施行し、平成19年12月26日から適用する。

附 則

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成21年3月23日から施行する。

附 則

この学則は、平成21年11月24日から施行し、平成21年10月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年8月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成23年8月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年6月20日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年11月19日から施行し、改正後の第4条第2項の規定は、平成21年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成25年10月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、平成28年度以前に入学した者に係る別表（第18条第2項関係）については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和3年2月22日から施行する。

附 則

この学則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（令和6年規程第8号）

この学則は、令和6年10月1日から施行する。

附 則（令和7年規程第27号）

この学則は、令和8年4月1日から施行する。ただし、令和7年度以前に入学した者に係る別表（第18条第2項関係）については、なお従前の例による。

別表（第18条第2項関係） 本学で取得できる教員免許状の種類

課 程	免 許 状 の 種 類	免許教科 又は 領域
学校教育教員養成課程	幼稚園教諭一種免許状	
	小学校教諭一種免許状	
	中学校教諭一種免許状	国語，社会，数学，理科， 音楽，美術，保健体育，技術， 家庭，外国語（英語）
	高等学校教諭一種免許状	国語，地理歴史，公民，数学， 理科，音楽，美術，工芸， 書道，保健体育，家庭，情報， 農業，工業，外国語（英語）
	特別支援学校教諭一種免許状	知的障害者，肢体不自由者， 病弱者

履 修 案 内

2 0 2 6 年 度

(2 0 2 6 年 度 入 学 者 用)

京 都 教 育 大 学

目 次

- ◎ 本学の教育・研究目的…………… (1)
- ◎ カリキュラム・ポリシー，ディプロマ・ポリシー …… (2)

学校教育教員養成課程

I. 履修要領

- 1. 「主免校種」(教育課程)の決定 …… 1
- 2. 最低修得単位数と単位の認定 …… 1
- 3. 受講登録単位の上限について …… 2
- 4. 各科目の履修要領 …… 2
- 5. 「学校ボランティア実習」の履修 …… 7
- 6. 授業科目のナンバリング …… 8
- 7. カリキュラムマップ …… 9
- 8. 外国人留学生のための授業科目 …… 9

II. 教育課程表

- ◎ 最低修得単位数 …… 1 6
- ◎ 共通教育科目(基礎科目，教養科目，外国語) …… 1 8
- ◎ 専門教育科目
 - 教育課題対応科目 …… 2 1
 - 教科及び教職に関する科目 …… 2 2
 - 小学校免許の教科に関する科目 …… 3 0
 - 得意分野パッケージ科目 …… 3 1
 - 専攻専門科目 …… 3 3
 - 教育学専攻，幼児教育専攻，発達障害教育専攻，国語領域専攻，社会領域専攻
 - 英語領域専攻，数学領域専攻，理科領域専攻，技術領域専攻，家庭領域専攻
 - 美術領域専攻(美術分野)，美術領域専攻(書道分野)，音楽領域専攻，体育領域専攻
 - 情報に関する科目 …… 4 7
 - 農業に関する科目 …… 4 7
- ◎ 自由科目 …… 4 8
- ◎ 学校図書館司書教諭資格取得に関する履修について …… 4 9

本学の教育・研究目的

I. 本学の目的

京都教育大学は、学芸についての深い研究と指導とをなし、教養高き人としての知識、情操、態度を養い、併せて教育者として必要な能力を得させることを目的とする。

II. 本学の教育目的

1. 教育学部の教育目的

教養高き人としての知識、情操、態度を育成し、学校教育、社会教育、生涯学習等の広い教育分野で地域社会に貢献できる人材を養成することを目指す。

2. 大学院連合教職実践研究科の教育目的

京都教育大学大学院連合教職実践研究科は、学部における教員養成教育と現職教員の教職経験の上に、教育の理論と教職実践を深く追究させることにより、教職に関する高度専門的な知識と実践的指導力を統合的に有する教員の養成を目的とする。

3. 特別支援教育特別専攻科

京都教育大学特別支援教育特別専攻科は、主として現職教員を対象とし、精深な程度において発達障害学に関する専門の事項を教授し、その研究を指導して、資質の向上を計ることを目的とする。

III. 本学の研究目的

京都教育大学は、「人を育てる知の創造と実践を担う大学」である。教育学部を擁する単科大学として、深い研究を通じた質の高い教育を為すとともに、教育に関する新しい知の創造と実践によって地域及び国際社会に貢献し、併せて責任と使命を自覚した実践力のある教員及び広く教育に携わる専門家を養成することをめざす。そのため、本学は、科学・芸術・スポーツなどの広い学芸を対象として、知を生み出す基礎研究、その成果を教育に活かす応用研究、さらに教育の場につなげる実践研究などの学術研究を推進することを目的とする。

カリキュラム・ポリシー

●教育学部カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学教育学部は、教員養成大学としての使命と教育目的等に沿った以下の資質・能力を積極的に培うことを目指して、教育課程を編成・実施します。

1. 教職科目、実地教育科目などを初年次から系統的に履修することで、教師として備えるべき倫理観、規範意識、人権意識を身につける。
2. 教職科目、実地教育科目などを履修して、教職に必要な知識や技能を実践的に学び、子どもを理解する力、生徒指導のための知識・技能、子どもの成長・発達についての理解を深める。
3. 卒業論文及び専攻専門科目を履修することで、専門的な知識・技能を修得し、自らの関心や問題意識にもとづいて思考し探究する姿勢を身につけるとともに、教職科目・実地教育科目を履修することで、教育実践へ展開できる力を培う。
4. 基礎科目、教養科目などを履修することで、思考・判断の基礎となる教養と感受性を培い、思考し表現する力を養う。
5. 教養科目、実地教育科目などを履修することで、豊かな人間性と社会性、常識と教養、コミュニケーション力などを身につけ、主体的に協働できる力を養成する。

ディプロマ・ポリシー

●教育学部ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

京都教育大学は、「人を育てる知の創造と実践を担う大学」として、不断の研究を基盤とした質の高い教育を通じて、責任と使命を自覚した実践力のある教員を養成し、教育に関する新しい知の創造と実践によって地域及び国際社会に貢献します。本学教育学部は、教員養成大学としての使命にしたがって、所定の単位を修得し、教師となるにふさわしい以下の要件を満たす者に学士の学位を授与します。

1. 教師としての使命感、情熱、倫理観や人権意識を持ち、常に学び続ける強い意欲を有している。
2. 教育や教職に関わるさまざまな知識や技能を有し、子どもの特性や心身の状況を理解して、誠実に子どもと関わるができる。
3. 教科等に関する専門分野において高い知識・技能を修めるとともに、新たな学びを展開できる実践的指導力を有し、自らの関心や問題意識にもとづいて思考し、探究できる。
4. 深い教養や豊かな感受性にもとづいて、思考・判断・表現することができる。
5. 豊かな人間性や社会性、常識と教養、コミュニケーション力などを有し、地域社会や同僚などと主体的に協働して、新たな課題に対応できる。

I. 履 修 要 領

1. 「主免校種」(教育課程)の決定

本学では、初等・中等教育諸学校から一つの学校種を選択し、選択した学校種の教員免許状の取得が可能になる教育課程を履修することとしています。各学生が選択した学校種(教員免許)を「○主免」(幼主免・小主免・中主免・高主免)と呼び、「主免」の学校種の教育実習を「主免実習」と呼んでいます。

ただし、発達障害教育専攻においては、特別支援学校教員免許状を取得する際必要となる初等・中等教育諸学校いずれかの学校種の教員免許を「基礎免」と呼んでおり、これは、他の専攻の「○主免」に相当するものです。

学生は、この「主免校種」を1回生前期の7月末までに所属専攻を通じて届け出て、4年間を通して、届け出た「主免校種」に応じた教育課程表に基づき必要な単位を修得しなければなりません。

届け出た「主免校種」を変更する場合は、指導教員及び専攻主任の承諾を得て、毎年度12月中旬～1月中旬に申請をすることにより変更が可能です。年度ごとの具体的な申請期間は、掲示により通知します。

なお、本学では、二校種の教員免許状の取得を強く推奨しており、「主免」と併せて取得する別の学校種(教員免許)を「○副免」と呼び、「副免」の学校種の教育実習を「副免実習」と呼んでいます。

2. 最低修得単位数と単位の認定

卒業のために修得しなければならない最低修得単位数は、135単位です。135単位の内訳については、各自の所属専攻及び「主免校種」により異なります。

本学における授業は、講義、演習、実験、実習及び実技に区分され、1単位は、標準45時間の学修を要するものとします。なお、各授業方法ごとの1単位当たりの授業時間数は次のように定められています。

- ①講義、演習 …………… 授業30時間＋自主学习60時間＝2単位
- ②実験、実習及び実技 …………… 授業30時間＋自主学习15時間＝1単位
- ③「共通教育科目」などの外国語 ……… 授業30時間＋自主学习15時間＝1単位

すなわち講義、演習は、1週2時間(本学では、90分)の授業15週相当を履修するとともに、自主学习60時間を学修し、試験に合格すれば2単位が認定されます。

実験、実習及び実技は、1週4時間の授業15週相当を履修するとともに、自主学习30時間を学修し、試験に合格すれば2単位が認定されます。

「共通教育科目」などの外国語は、1週2時間の授業を15週相当を履修するとともに、自主学习15時間を学修し、試験に合格すれば1単位が認定されます。

以上のように、単位修得するためには、授業に出席することはもちろんのこと、自主学习が必要となります。上記の自主学习時間を基準に、各授業科目のシラバスに記載されている「自学自習に関する情報」欄の記載内容や、授業時間中に指示された内容に基づき、各自が計画的に自主学习を行ってください。

3. 受講登録単位の上限について

本学では、1年間を2学期（前期及び後期）に区分しており、1学期間に受講登録できる単位数は26単位以内に制限されています。教育課題対応科目、教育実習、自由科目（短期留学「国際教育体験実習」「異文化理解研修(中国)」「異文化理解研修(韓国)」、異文化交流「異文化交流研修(カナダ)」に限る）、卒業論文及び単位互換協定（大学コンソーシアム京都提供科目「大学コンソーシアム京都産学連携教育プログラム」を含む）に基づく履修科目の単位は、受講登録単位の制限から除外されます。

なお、**受講登録時に上限単位を超過して登録し、受講登録確認期間中に超過分を削除せずに放置した場合、その学期分の受講登録単位は全て無効となりますので、注意してください。**

以下の場合には、制限を超えて履修することができます。

- ① 1回生後期以降については、直前の学期における「“秀”及び“優”評定の科目数/登録科目数」（受講登録制限対象外の授業科目も含みます。）の比が、80%以上の者については、申し出に基づき1学期につき30単位までの受講登録を認められます。
- ② 教育課程及び時間割の設定上、履修が困難になる場合は、本人、指導教員及び専攻主任連名による申請に基づき教務委員会において審査し、その事由が妥当であると判断された場合は、制限を超えた履修登録を認めることがあります。
- ③ **①の適用を希望する場合は、各期の受講登録期間中に教務課へ申請してください。**

4. 各科目の履修要領

各科目は、教育課程表に示す標準履修期において単位修得することが望ましいですが、標準履修期の回生以上であれば履修することができます。各自の学修目的に応じて、履修計画を立ててください。

(1) 共通教育科目

共通教育科目は、①基礎科目及び②教養科目に区分されており、その最低修得単位数は、全専攻共通で、合計23単位です。

－ なぜ共通教育科目を学ぶのか －

今生きている時代をどう理解し、今生きている社会の中でどう行動していくか—これは私たちすべてにとって共通の課題であり、そのためには最低限の知識と経験が要求されます。

(1) 自分を知る、自分を高める
私たちはまず一人の人間として、自らの感性を豊かにし、自己表現力を磨き、心身の健康について意識的であることが望まれます。そのためには、芸術・文化やスポーツを通して自分の可能性を広げることが重要です。また、自分自身を正確に理解し、常に省察する習慣を身につける必要があります。そのために哲学や心理学は大きな助けとなるでしょう。さらに自分が生きている社会の歴史や憲法、教育史について学ぶことも大切です。

(2) 他者を理解する、他者と生きる
他者を理解し、共に生きていくためには、まず他者に興味・関心をもち、より多くのことを知り、共有していこうとする態度が必要であり、人間としての基本的な（つまり最も重要な）権利を学び、それを擁護していく姿勢が求められます。また異文化に触れ、価値観の異なる人々と交流する際にも、知的的好奇心と同時に謙虚で柔軟な思考が欠かせません。私たちは外国の言語や社会・文化・歴史を学ぶことによってより広い視野をもつことができ、その結果自分の社会や文化について深く理解することができるようになるのです。

(3) 現代社会を理解する、科学・技術を生かす
現代社会の提起する問題はますます複雑なものになっています。これらの問題を理解するにはまず正確な基礎知識（リテラシー）が不可欠です。「数理・データサイエンス・AI」に関する知識も現代社会が要求する基礎的能力の一つです。また最先端の科学が産業・技術や社会・経済にもたらす影響を正しく認識するためには、自然科学の基礎的知識が前提となります。さらに環境問題や職業倫理といった複合的要素からなるテーマについて考えるためには、地球や生命についての知識はもちろん、専門の枠を超えた幅広く、統合された知識と判断力が要求されます。

共通教育科目は以上のような要求に応えるために用意されているのです。私たちが自立した個人、そして責任をもった市民となるために学ぶべきこと—それは社会が個人に教えるべきこと、伝えるべきことでもあります。教員を志望する皆さんにとってこれら知識が教育の場での貴重な足場となるでしょう。教員も皆さんが今後どのような専門分野を研究対象に選んだとしても、その確固とした土台となるはずなのです。

①基礎科目

「日本国憲法」, 「KYOKYOスタートアップセミナー」, 「専攻基礎セミナー」, 「数理・データサイエンス・AI」, 「外国語」及び「体育」に区分されており, 合計14単位を修得しなければなりません。

「外国語」の履修については, 卒業要件に充てる6単位は「英語」とします。

なお, 「英語学修の成果が本学で定める基準」(「共通教育科目・外国語」のページ参照)に達している者は, 卒業要件に充てる6単位について, 英語以外の言語を選択することができます。この適用を受けようとする場合は, 入学年度の3月末日までに, 教務課で申請手続き(申請書と証明書の提出)を行わなければなりません。

外国語を履修するにあたって — なぜ外国語を学ぶのか —

(1) 多様な価値観を知り, 相対的な視点をもつために
今私たちが生きている社会は決して同質の要素から構成されているわけではなく, 同じ価値観をもつ人々だけで成立しているわけでもありません。「国際社会」についても事情は同じです。国際的な交流が活発になればなるほど, 自分たちとは違う価値観・歴史・文化をもった人々とのコミュニケーションや相互理解の重要性が増していきます。そのような交流のために, まず必要な手段は「言語」です。

私たちは他者の言語(外国語)に触れることによって, 自分たちの言語との共通点を知るとともに, 自分たちの言葉には置き換えられない単語や表現があることに気づきます。ひとつの言語を学ぶことは, その言語を話す人々の生活や習慣, 物の考え方を学ぶことであり, まさに「相手の立場に立つ」ことなのです。

また外国語の学習は自分自身の言語を改めて見つめ直し, 言葉についてより意識的になる機会でもあります。ドイツの文豪ゲーテも言っているように「外国語を学ぶことは母国語を知る用とすること」なのであり, 深く考えもせずに使っていた言葉を見直し, 正確でわかりやすい表現を用いる習慣を身につけることにつながり得るはずなのです。例えば, 日本人学生が外国語を学習することを通して, 日本語を学ぼうとしている外国人の気持ちを理解し, 彼らの立場になって話せることができるようになると思ったら, 私たちの目指す「相互理解」は既に始まっているといえるでしょう。このように外国語学習を通して得られる「相対的な視点」や「他者への寛容さ」が, 「教育」にとっても重要なテーマであることは言うまでもありません。

(2) 英語以外の外国語を学ぶこと
外国語は大学での専門科目の学習において外国の文献・資料を扱うために必要な手段となります。皆さんの多くが既に学習している英語は, 多くの学問分野で使用されている言語であることと, や, 小学校における英語学習が重視されるなどの理由により, 本学では英語の履修を必修としています。

一方で, みなさんが視野を広げ, 知識を深めるためには, ぜひ英語以外の外国語も学ぶことを奨めます。本学ではドイツ語, フランス語, 中国語, イタリア語, ハンガール語を学ぶことができます。所属する専攻により推奨される言語もあります。大学時代はこれらの言語を学べる絶好の機会です。皆さんの興味や専門分野に応じて積極的に学んでください。

また, 本学では外国語の資格認定試験の受験や海外語学研修を奨励しています。自分の実力を確かめ, 努力目標とするためにも, また留学・進学や就職のチャンスを広げるためにもぜひチャレンジしてください。外国語の資格認定試験や海外語学研修は本学の単位として認定される場合もあります。

なお, 外国人留学生のみなさんは, 外国語科目として「日本語」を履修することができます。レベルが合えば他の外国語科目を履修することも可能です。

第2 外国語の履修を推奨します。

②教養科目

「社会・文化と人間」, 「自然と人間」及び「その他」の3区分に区分されており, 「社会・文化と人間」及び「自然と人間」の2区分からそれぞれ1科目2単位ずつを選択して計4単位修得し, 「社会・文化と人間」, 「自然と人間」及び「その他」の3区分の中から5単位を選択して合計9単位を修得しなければなりません。

(2) 専門教育科目

専門教育科目は, ①教育課題対応科目, ②教科及び教職に関する科目, ③専攻専門科目(発達障害教育専攻は“特別支援教育に関する科目”を含む)及び④卒業論文に区分されており, 最低修得単位数の内訳は, 所属専攻及び「主免校種」に応じて定められています。

①教育課題対応科目

最低修得単位数及びその内訳は、「主免校種」に応じて異なります。

「公立学校等訪問演習」、「附属学校参加実習」及び「介護等体験事前教育」は、教育課程表に示す履修期において修得しなければなりません。

②教科及び教職に関する科目

最低修得単位数及びその内訳は、所属専攻及び「主免校種」に応じて異なります。

なお、教育実習は、本学附属学校園等において実施します。教育実習に参加する学生は、教育実習が幼児、児童、生徒の学習や人格形成などに大きな影響を及ぼすことを自覚して、共通教育科目、専門教育科目を履修し、十分な学力を身につけておく必要があります。

「主免・基礎免実習」の履修に当たっては、「主免・基礎免実習」を履修する年度の前年度終了までに、教育課題対応科目の「附属学校参加実習」を履修し、かつ「日本国憲法」、「KYOKYOスタートアップセミナー」、「専攻基礎セミナー」、「数理・データサイエンス・AI」の4科目6単位を含む66単位以上を修得済みであることが要件となっています。この要件を満たしていない場合は、「主免・基礎免実習」を履修できないので、充分注意してください。

「主免校種」別の教育実習を履修する学校種と取得可能教員免許状は、次表のとおりです。

主免校種	主免実習	主免実習で取得可能免許状	副 免 実 習	副免実習に対応する免許状
小主免	小学校	幼・小	中学校(高等学校)	中・高
中主免	中学校(高等学校)	中・高	小学校	幼・小
高主免 (美術教育専攻 (書道分野))	高等学校	中・高	小学校	幼・小
幼主免 (幼児教育専攻)	幼稚園	幼・小	小学校 中学校(高等学校)	幼・小 中・高
小基礎免 (発達障害 教育専攻)	特別支援学校 【基礎免】小学校	特支・幼・小	中学校(高等学校)	中・高
中基礎免 (発達障害 教育専攻)	特別支援学校 【基礎免】中学校 (高等学校)	特支・中・高	小学校	幼・小

※ 卒業に要する単位内で取得できる免許状以外の免許状を取得するには、上表の教育実習のほかに各免許状に応じた単位修得が必要です。なお、学校種や教科の組み合わせによっては、時間割上、必要な単位修得ができない場合があります。

③専攻専門科目

各自が選択した「主免校種」に応じた教育課程で定められている授業科目及び単位数を修得しなければなりません。なお、発達障害教育専攻においては、専攻専門科目に特別支援教育に関する科目が含まれています。

④卒業論文

卒業論文(一部の専攻においては、論文形式を取らないこともある)6単位を修得しなければなりません。提出、審査等の手続きについては指導教員の指示に従ってください。

なお、学際的、総合的な教育問題を研究課題とする場合は、「複合領域」の卒

業論文として提出し、自専攻以外の教員（教職キャリア高度化センター，総合教育臨床センター，環境教育実践センター，保健管理センターの教員を含む）の指導を受けることも可能です。

(3) 自由科目

自由科目として、学校図書館司書教諭の資格取得科目、外国語のスキルアップ、国際教育関係科目を開設しています。資格取得や個々の興味、関心に応じて、履修することができます。

(4) 障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験（以下「介護等体験」という。）について

小学校又は中学校の教員免許状の所要資格を得ようとする場合には、次の「介護等体験」が必要です。事前に説明会を開きますので、全員必ず出席し、必要な手続きを行ってください。

下記2種類の「介護等体験」受講に伴う、事前教育	左欄の事前教育は、教育課題対応科目の「介護等体験事前教育」の単位として認定されます。
附属特別支援学校での介護等体験 社会福祉施設等での介護等体験	左欄の介護等体験は、単位としての認定はありません。

上表の2種類の介護等体験を行わなかった場合は、教員免許状取得のための所要単位を満たしても、小学校及び中学校の教員免許状は取得できません。

(5) 得意分野パッケージ科目

本学では、各自の履修目的や意欲により選択することができる「得意分野パッケージ」科目を設定しています。

現在、「外国人児童生徒等教育」「発達障害の教育」「幼児教育」「グローバル教員育成」のパッケージが設置されています。いずれも、将来、教職に就いたときに役立つ内容となっていますので、各自の興味・関心も含めた履修目的に応じ、主体的に履修することを奨めます。

各パッケージの概要及び授業科目は「得意分野パッケージ科目」のページを参照してください。

なお、パッケージごとの、「パッケージ履修証明書発行要件」を満たした者は、申し出により、「得意分野パッケージ科目履修証明書」の交付を受けることができます（在学中も可能）。

(6) 理系教育スペシャリスト・ジェネラリスト認定証

本認定証は、本学における「理系の専門分野の知識と教科指導力の双方を備えた教員」を養成するため、定められた授業科目を履修し、「単位修得要件」を満たした場合に授与されます。

認定は、中学校・高等学校の理系教科の内容に精通し、わかりやすく指導できる専門的な指導力を有する【理系教育スペシャリスト】と、小学校の理系教科の内容を正しく理解し、わかりやすく指導できる十分な指導力を有する【理系教育ジェネラリスト】とに区分して行います。

「対象学生」及び「単位修得要件」は、下記の表のとおりです。区分ごとの「単位修得要件」を満たした方に、卒業時に「認定証」を授与します。(在学中に要件を満たし、「認定証」を卒業前に取得したい場合は教務課へ申し出てください)。

認定証授与対象学生	認定証授与単位修得要件		
【理系教育スペシャリスト認定証】 学校教育教員養成課程のうち 数学領域専攻 理科領域専攻 技術領域専攻 家庭領域専攻 に在籍する学生	所属する専攻に対応する教科の授業科目について、下記①及び②を満たすこと		
	①	教科の指導法に関する科目	中等〇〇科教育Ⅰ 中等〇〇科教育Ⅱ
		教科に関する専門的事項	中2種必修科目(※1)
			*上記授業科目の合計単位数のうち、60%(9～10単位、教科により異なる)以上を「秀」又は「優」で単位修得
	②	教科の指導法に関する科目	中等〇〇科教育Ⅲ 中等〇〇科教育Ⅳ
教科に関する科目		専攻専門科目 (①の中2種必修科目(※1)を除く)	
		*上記授業科目から、16単位以上を「秀」又は「優」で単位修得	
【理系教育ジェネラリスト認定証】 学校教育教員養成課程に在籍する学生	下記①を満たすこと		
	①	教科の指導法に関する科目	初等算数科教育 初等理科教育 初等生活科教育 初等家庭科教育
		教科に関する科目	小学校教科内容論算数 小学校教科内容論理科 小学校教科内容論生活 小学校教科内容論家庭
			*上記授業科目の合計単位数のうち60%(10単位)以上を「秀」又は「優」で単位修得

(※1)入学年度「履修案内」の「Ⅲ. 教育職員免許状の所要資格について」

— 【別表B】各教科の中二種最低修得単位にかかる授業科目

(7) 6年制教員養成高度化コース

教育学部4年と連合教職実践研究科(教科研究開発高度化系)2年を組み合わせる6年間一貫の教育を行う「6年制教員養成高度化コース」を設置しています。詳細は、2年生時に実施する「コース説明会」で説明します。

5. 「学校ボランティア実習」の履修

(1) 「学校ボランティア」は、学校等教育施設で、多様な教育活動の補助等として活動をすることです。子どもたちや教員、地域の人たちと接することができ、将来教員を目指す上で、貴重な経験を積むことができます。下記の条件に当てはまる活動を終えた後、申請により本科目の単位が修得できます。

(2) 単位認定について

単位認定の対象となる活動の範囲	<p>ボランティアオフィスで取り扱っている教育関連ボランティアで次の条件を満たす活動</p> <p>① ボランティアオフィスが紹介する学校等教育施設における教育活動に関連する活動</p> <p>② 学校園、教育委員会、自治体設置の各種教育施設が主催する教育活動に関連する活動</p> <p>③ 報酬を伴わない活動(交通費などの学生が負担する費用の補助、活動する地域の最低賃金を下回る謝礼などは、報酬と見なさない)</p> <p>※学校園などが募集している場合であっても、主催がPTAなどの場合は、対象外です。</p> <p>※単位認定対象範囲の確認について相談がある場合は、教務課⑥番窓口に申し出てください。</p>
活動内容	<p>担任補助、放課後の学習補助、クラブ活動、学校行事の補助、各教科の指導(個別指導・ティームティーチング等)補助、特別な教育的支援が必要な児童生徒への補助、外国人児童生徒の学校生活における支援などです。</p>
活動の説明とボランティア登録	<p>「KYOKYOスタートアップセミナー」の授業時間内に、活動内容及び単位認定の手続きの概要の説明を受け、各学年対象の「学校ボランティア登録済みクラスルーム」へ参加してください。</p>
活動学校園等の紹介	<p>ボランティアオフィスで、学校ボランティア活動(登録)申込票に記入した希望内容に基づきコーディネートし、学校園等を紹介するので、ボランティアオフィスに申し出てください。</p>
活動開始	<p>活動を行う際の注意事項などは、ボランティアオフィスのガイダンスを遵守してください。</p>
活動の記録	<p>活動を行った日ごとに、「学生ボランティア記録用紙」に学校園等の担当者の確認を受けてください。</p>
単位認定に必要な活動時間数	<p>45時間以上</p> <p>(例)1日に6時間の活動を行う場合、7.5日以上が必要となります。</p>
活動終了後の単位認定の申請手続	<p>① 「学校ボランティア活動報告書」(「学生ボランティア記録用紙」添付)を、学校園等の担当者に提出し活動終了の確認を受けてください。</p> <p>② 上記「報告書」を学校園等から直接受領し、ボランティアオフィスで確認を受けた後、「報告書」の写しを受け取り、「学校ボランティア実習単位認定申請書」とともに、教務課⑥番窓口へ提出してください。</p> <p>※単位の認定は在学期間中1回に限ります</p>
単位認定の申請時期	<p>①前期中に活動を終えた場合：後期受講登録期間</p> <p>②後期中に活動を終えた場合：次年度前期受講登録期間</p>
単位認定の通知	<p>単位認定の申請を行った学期末に、「教育支援システム」により「修得単位通知書」で通知します。</p>

(「ボランティアオフィス」は、教育創生リージョナルセンター機構棟内教職キャリア高度化センターにあります)

6. 授業科目のナンバリング

授業科目ナンバリングは、本学で開講している授業科目〔基礎科目、教養科目、教職に関する科目、各校種指導法に関する科目、小・幼教科(領域)に関する科目、専攻専門科目等〕に対し、「科目・専攻専門」、「設置回生(標準履修期)」、「必修又は選択」の区分に応じて、特定のコードや数字を割り当てたものです。

「設置回生(標準履修期)」などから学修の段階や順序を整理し、教育課程をより体系的に理解するためのツールとして、履修科目選択の際などに活用してください。

※設置回生(標準履修期)が複数期に渡る場合は、最初の回生を割り当てています。通し番号は区分ごとの連番です。

○科目ナンバリングコード区分

例	科目・専攻専門	設置回生	必修又は選択	通し番号
	別表1-1・2	別表2	別表3	01～
日本国憲法 BST 1 1 01	BST 基礎科目	1 1回生	1 全学共通必修	01 1番
物理学 I RIK 1 7 01	RIK 専攻専門	1 1回生	7 専攻専門必修	01 1番

科目(別表1-1)

基礎科目	B S T	Basic Studies
基礎科目-英語標準履修	B E N	Basic Studies-English
基礎科目-他外国語	B L S	Basic Studies-Language study
基礎科目-体育	B S P	Basic Studies-Sports
教養科目-社会・文化	G S C	General Studies-Social・Culture
教養科目-自然	G N A	General Studies-Nature
教養科目-その他	G O T	General Studies-Others
教職科目	P R F	Teaching Profession
幼稚園保育内容指導法	P T M	Pre-School Teaching Method
幼稚園領域専門	P E D	Pre-School Education
小学校教科指導法	E T M	Elementary Teaching Method
小学校教科専門	E E D	Elementary Education
中・高教科指導法	S T M	Secondary Teaching Method
教育課題対応科目	E D I	Educational Issues
自由科目	F R E	Free

専攻専門(別表1-2)

教育学専攻	K Y O
幼児教育専攻	Y O U
発達障害教育専攻	H A T
国語領域専攻	K O K
社会領域専攻	S H A
英語領域専攻	E I G
数学領域専攻	S U U
理科領域専攻	R I K
技術領域専攻	G I J
家庭領域専攻	K A T
美術領域専攻(美術分野)	B I J
美術領域専攻(書道分野)	S H O
音楽領域専攻	O N G
体育領域専攻	T A I
情報に関する科目	J Y O
農業に関する科目	N O U

設置回生(別表2)

1回生	1
2回生	2
3回生	3
4回生	4

必修又は選択(別表3)

全学共通必修	1
幼1種必修(教職及び保育内容指導法)	2
小1種必修(教科指導法)	3
中2種必修(教科指導法・教科に応じて)	4
中1種必修(教科指導法・教科に応じて)	5
高1種必修(教科指導法・教科に応じて)	6
各専攻専門必修	7
選択	0

7. カリキュラムマップ

本学のカリキュラムマップは、共通教育科目と専門教育科目の区分ごとに、学修の順序を示すとともに、授業科目間の系統性を図示しています。カリキュラムの全体像を俯瞰し、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と関連するのかを考えながら、4年間の履修計画を検討する際の参考にしてください。次頁以降に、主免校種ごとに掲載しています。

8. 外国人留学生のための授業科目

外国人留学生には、教員免許状取得のための単位をすべて修得することは義務づけませんが、希望により教員免許状取得も可能としています。

教員免許状を取得しない場合は、以下の科目について代替できることとします。

科目区分	授業科目・単位	代替できる科目
教育課題対応科目	介護等体験事前教育 1単位	左記授業科目のうち履修しない科目の単位を、所属する専攻の専攻専門科目から単位修得する。
教育実践に関する科目	教育実習（主免） 5単位	ただし、「教育実習（主免）・5単位」又は「教育実習（基礎免）・5単位」を履修しない場合は、「世界の教育A」及び「世界の教育B」の計4単位を修得し、残る単位数については、所属する専攻の専攻専門科目から単位修得する。
	教育実習（副免） 3単位	
	教育実習（基礎免） 5単位	
専攻専門（発達障害教育専攻）科目	障害児教育実習 4単位	

①代替する場合の組み合わせは、所属専攻により次のようになります。

発達障害教育専攻：

教育実習（基礎免）5単位＋障害児教育実習4単位＋介護等体験事前教育1単位

美術教育専攻（書道分野）：

教育実習（主免）5単位＋教育実習（副免）3単位＋介護等体験事前教育1単位

発達障害教育及び美術教育（書道分野）以外の専攻：

教育実習（主免）5単位＋介護等体験事前教育1単位

②代替を希望する学生は、「主免校種」の届け出の時期に（1回生前期の7月末まで）、上記の代替について併せて届け出なければなりません。

変更する場合についても、「主免校種」の変更届と同様の手続きを行わなければなりません。

③「世界の教育A」及び「世界の教育B」は、外国人留学生のための授業科目ですが、日本人学生も履修できます。

カリキュラムマップ(2026年度入学生)

① 教育学専攻・教科領域専攻 小主免(小学校1種+中学校2種)

		1回生		2回生		3回生		4回生		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門 教育科目	専攻専門	専攻専門科目(副免許の中学校「教科に関する科目」を含む)								
	主免許の小学校教科に関する科目	小学校教科内容論〇〇(5教科)								
	主免許の小学校指導法に関する科目			初等〇〇科教育(10教科)						
	副免許の中学校指導法に関する科目			中等〇〇科教育Ⅰ		中等〇〇科教育Ⅱ		(中等〇〇科教育Ⅲ) (中等〇〇科教育Ⅳ)		
	教職に関する科目	教育の理念と歴史(前期又は後期)			教育心理学(前期又は後期)		総合的な学習の時間の指導法(前期又は後期)		教職実践演習	
		教職論(前期又は後期)			公教育経営論又は教育社会学(前期又は後期)		特別活動の指導法(前期又は後期)			
		特別支援教育(前期又は後期)			教育課程論(前期又は後期)					
					道徳の理論及び指導法(前期又は後期)					
					教育方法・ICT活用論(前期又は後期)					
					生徒指導・進路指導の理論及び方法	教育相談の理論及び方法				
教育課題 対応科目	実地教育系			介護等体験事前教育	同一校で教育実習	連携	教育実習(主免許校種)	教育実習(副免許校種)		
		公立学校等訪問演習	附属学校参加実習(主免許校種)		授業実践基礎演習(小主免)	初等教科教育実践論	公立学校インターンシップ	公立学校等教育実習(オプション実習)		
		学校ボランティア実習								
	教育課題対応科目	人権教育論、メディアと教育								
	スポーツクラブ指導入門、国際教育論、児童・生徒のための日本語教育論A、日本語学習支援・実地研究B、学校教育と生活工学、学校園における農園芸実習Ⅰ、学校園における農園芸実習Ⅱ、性倫理と性教育、子どもの健康と身体形成、ジェンダー論									
	学校と子どもの安全(前期又は後期)									
					小中一貫教育論		教職キャリア実践論			
共通 教育科目	基礎科目	日本国憲法(前期又は後期)								
		KYOKYOスタートアップセミナー	専攻基礎セミナー							
		数理・データサイエンス・AI								
		生涯スポーツ実習Ⅰ	生涯スポーツ実習Ⅱ							
		コミュニケーションのための英文法	総合英語							
	英語コミュニケーションA	英語コミュニケーションB	英語インテンシブリーディング	英語エクステンシブリーディング						
教養科目	「社会・文化と人間」科目群 「自然と人間」科目群 「その他」科目群									

② 教科領域専攻 中主免(中学校1種+小学校2種)

		1回生		2回生		3回生		4回生			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門教育科目	専攻専門	専攻専門科目(主免許の中学校「教科に関する科目」を含む)								卒業論文	
	主免許の中学校指導法に関する科目			中等〇〇科教育Ⅰ	中等〇〇科教育Ⅱ	中等〇〇科教育Ⅲ	中等〇〇科教育Ⅳ				
	副免許の小学校教科に関する科目	小学校教科内容論〇〇(2教科)									
	副免許の小学校指導法に関する科目			初等〇〇科教育(音、図、体のうち、2教科を含み6教科以上)							
	教職に関する科目	教育の理念と歴史(前期又は後期)			教育心理学(前期又は後期)	総合的な学習の時間の指導法(前期又は後期)		教職実践演習			
		教職論(前期又は後期)			公教育経営論 又は 教育社会学(前期又は後期)	特別活動の指導法(前期又は後期)					
		特別支援教育(前期又は後期)			教育課程論(前期又は後期)						
					道徳の理論及び指導法(前期又は後期)						
					教育方法・ICT活用論(前期又は後期)						
				生徒指導・進路指導の理論及び方法	教育相談の理論及び方法						
教育課題対応科目	実地教育系			介護等体験事前教育	同一校で教育実習	教育実習(主免許校種)		教育実習(副免許校種)			
		公立学校等訪問演習	附属学校参加実習(主免許校種)		授業実践基礎演習(中主免)	公立学校インターンシップ	公立学校等教育実習(オプション実習)				
		学校ボランティア実習									
	教育課題対応科目			人権教育論、メディアと教育							
			スポーツクラブ指導入門、国際教育論、児童・生徒のための日本語教育論A、日本語学習支援・実地研究B、学校教育と生活工学、学校園における農園芸実習Ⅰ、学校園における農園芸実習Ⅱ、性倫理と性教育、子どもの健康と身体形成、ジェンダー論								
			学校と子どもの安全(前期又は後期)								
					小中一貫教育論	教職キャリア実践論					
共通教育科目	基礎科目	日本国憲法(前期又は後期)									
		KYOKYOスタートアップセミナー	専攻基礎セミナー								
		数理・データサイエンス・AI									
		生涯スポーツ実習Ⅰ	生涯スポーツ実習Ⅱ								
		コミュニケーションのための英文法		総合英語							
	英語コミュニケーションA	英語コミュニケーションB	英語インテンシブリーディング	英語エクステンシブリーディング							
教養科目	「社会・文化と人間」科目群 「自然と人間」科目群 「その他」科目群										

③ 幼児教育専攻 幼主免(幼稚園1種+小学校1種)

		1回生		2回生		3回生		4回生		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門教育科目	専攻専門	専攻専門科目								卒業論文
	主免許の幼稚園領域に関する科目			幼児と人間関係、幼児と表現	幼児と健康、幼児と環境					
				幼児と言葉						
	主免許の幼稚園指導法に関する科目			保育内容総論	保育内容・〇〇の指導法(5領域)					
	副免許の小学校教科に関する科目	小学校教科内容論〇〇(5教科)								
	副免許の小学校指導法に関する科目			初等〇〇科教育(10教科)						
	教職に関する科目		教育の理念と歴史(前期又は後期)		教育心理学(前期又は後期)		総合的な学習の時間の指導法(前期又は後期)		教職実践演習	
			教職論(前期又は後期)		公教育経営論又は教育社会学(前期又は後期)		特別活動の指導法(前期又は後期)			
			特別支援教育(前期又は後期)		教育課程論(前期又は後期)					
					道徳の理論及び指導法(前期又は後期)					
				教育方法・ICT活用論(前期又は後期)						
			生徒指導・進路指導の理論及び方法		教育相談の理論及び方法		保育の方法及び技術			
							幼児の心理と相談			
教育課題対応科目	実地教育系			介護等体験事前教育	同一校で教育実習	介護等体験(7日間)		教育実習(主免許校種)	教育実習(副免許校種)	
		公立学校等訪問演習	附属学校参加実習(主免許校種)		授業実践基礎演習(幼主免)		公立学校インターンシップ	公立学校等教育実習(オプション実習)		
		学校ボランティア実習								
	教育課題対応科目			人権教育論、メディアと教育						
				スポーツクラブ指導入門、国際教育論、児童・生徒のための日本語教育論A、日本語学習支援・実地研究B、学校教育と生活工学、学校園における農園芸実習Ⅰ、学校園における農園芸実習Ⅱ、性倫理と性教育、子どもの健康と身体形成、ジェンダー論						
			学校と子どもの安全(前期又は後期)				小中一貫教育論	教職キャリア実践論		
共通教育科目	基礎科目	日本国憲法(前期又は後期)								
		KYOKYOスタートアップセミナー	専攻基礎セミナー							
		数理・データサイエンス・AI								
		生涯スポーツ実習Ⅰ	生涯スポーツ実習Ⅱ							
		コミュニケーションのための英文法		総合英語						
	英語コミュニケーションA	英語コミュニケーションB	英語インテンシブリーディング	英語エクステンシブリーディング						
教養科目	「社会・文化と人間」科目群		「自然と人間」科目群		「その他」科目群					

④ 発達障害教育専攻 基礎免小主免(小学校1種+特別支援学校1種)

		1回生		2回生		3回生		4回生		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専攻専門	専攻専門	専攻専門科目(特別支援学校免許の「特別支援教育に関する科目」を含む)						障害児教育実習(特別支援学校)		卒業論文
	基礎免許の小学校教科に関する科目	小学校教科内容論〇〇(5教科)								
	基礎免許の小学校指導法に関する科目			初等〇〇科教育(10教科)						
	教職に関する科目	教育の理念と歴史(前期又は後期)			教育心理学(前期又は後期)		総合的な学習の時間の指導法(前期又は後期)		教職実践演習	
		教職論(前期又は後期)			公教育経営論又は教育社会学(前期又は後期)		特別活動の指導法(前期又は後期)			
		特別支援教育(前期又は後期)			教育課程論(前期又は後期)					
					道徳の理論及び指導法(前期又は後期)					
				教育方法・ICT活用論(前期又は後期)						
				生徒指導・進路指導の理論及び方法		教育相談の理論及び方法				
	実地教育系				介護等体験事前教育		教育実習(基礎免許校種)		教育実習(副免許を取得する場合)	
				同一校で教育実習		連携 介護等体験【7日間】				
公立学校等訪問演習				附属学校参加実習(基礎免許校種)		初等教科教育実践論		公立学校インターンシップ		
				授業実践基礎演習(小基礎免)				公立学校等教育実習(オプション実習)		
学校ボランティア実習										
教育課題対応科目		人権教育論、メディアと教育								
		スポーツクラブ指導入門、国際教育論、児童・生徒のための日本語教育論A、日本語学習支援・実地研究B、学校教育と生活工学、学校園における農園芸実習Ⅰ、学校園における農園芸実習Ⅱ、性倫理と性教育、子どもの健康と身体形成、ジェンダー論								
		学校と子どもの安全(前期又は後期)								
					小中一貫教育論		教職キャリア実践論			
共通教育科目	基礎科目	日本国憲法(前期又は後期)								
		KYOKYOスタートアップセミナー	専攻基礎セミナー							
		数理・データサイエンス・AI								
		生涯スポーツ実習Ⅰ	生涯スポーツ実習Ⅱ							
		コミュニケーションのための英文法		総合英語						
		英語コミュニケーションA	英語コミュニケーションB	英語インテンシブリーディング	英語エクステンシブリーディング					
教養科目	「社会・文化と人間」科目群 「自然と人間」科目群 「その他」科目群									

⑤ 発達障害教育専攻 基礎免中主免（中学校1種＋特別支援学校1種）

		1回生		2回生		3回生		4回生		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門教育科目	専攻専門	専攻専門科目（特別支援学校免許の「特別支援教育に関する科目」を含む）						障害児教育実習（特別支援学校）		卒業論文
	基礎免許の中学校教科に関する科目	中学校免許の「教科に関する科目」（1教科20単位）								
	基礎免許の中学校指導法に関する科目					中等〇〇科教育Ⅰ	中等〇〇科教育Ⅱ	中等〇〇科教育Ⅲ 中等〇〇科教育Ⅳ		
	教職に関する科目	教育の理念と歴史（前期又は後期）		教育心理学（前期又は後期）		総合的な学習の時間の指導法（前期又は後期）				教職実践演習
		教職論（前期又は後期）		公教育経営論 又は 教育社会学（前期又は後期）		特別活動の指導法（前期又は後期）				
		特別支援教育（前期又は後期）		教育課程論（前期又は後期）						
				道徳の理論及び指導法（前期又は後期）						
			教育方法・ICT活用論（前期又は後期）							
			生徒指導・進路指導の理論及び方法		教育相談の理論及び方法					
	教育課題対応科目	実地教育系			介護等体験事前教育	同一校で教育実習	介護等体験【7日間】		教育実習（基礎免許校種）	教育実習（副免許を取得する場合）
公立学校等訪問演習			附属学校参加実習（基礎免許校種）		授業実践基礎演習（中基礎免）	公立学校インターンシップ	公立学校等教育実習（オプション実習）			
学校ボランティア実習										
教育課題対応科目		人権教育論、メディアと教育								
	スポーツクラブ指導入門、国際教育論、児童・生徒のための日本語教育論A、日本語学習支援・実地研究B、学校教育と生活工学、学校園における農園芸実習Ⅰ、学校園における農園芸実習Ⅱ、性倫理と性教育、子どもの健康と身体形成、ジェンダー論									
	学校と子どもの安全（前期又は後期）									
					小中一貫教育論	教職キャリア実践論				
共通教育科目	基礎科目	日本国憲法（前期又は後期）								
		KYOKYOスタートアップセミナー	専攻基礎セミナー							
		数理・データサイエンス・AI								
		生涯スポーツ実習Ⅰ	生涯スポーツ実習Ⅱ							
		コミュニケーションのための英文法		総合英語						
	英語コミュニケーションA	英語コミュニケーションB	英語インテンシブリーディング	英語エクステンシブリーディング						
教養科目	「社会・文化と人間」科目群 「自然と人間」科目群 「その他」科目群									

⑥ 美術領域専攻(書道分野) 高主免(高等学校1種+小学校1種)

		1回生		2回生		3回生		4回生		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門教育科目	専攻専門	専攻専門科目(主免許の高等学校(書道)「教科に関する科目」を含む)								卒業論文
	主免許の高等学校指導法に関する科目			中等書道科教育Ⅰ	中等書道科教育Ⅱ					
	副免許の小学校教科に関する科目	小学校教科内容論〇〇(5教科)								
	副免許の小学校指導法に関する科目			初等〇〇科教育(10教科)						
	教職に関する科目	教育の理念と歴史(前期又は後期)			教育心理学(前期又は後期)	総合的な学習の時間の指導法(前期又は後期)		教職実践演習		
		教職論(前期又は後期)			公教育経営論又は教育社会学(前期又は後期)	特別活動の指導法(前期又は後期)				
		特別支援教育(前期又は後期)			教育課程論(前期又は後期)					
					道徳の理論及び指導法(前期又は後期)					
					教育方法・ICT活用論(前期又は後期)					
				生徒指導・進路指導の理論及び方法	教育相談の理論及び方法					
教育課題対応科目	実地教育系			介護等体験事前教育	同一校で教育実習	介護等体験(7日間)		教育実習(主免許校種)	教育実習(副免許校種)	
		公立学校等訪問演習	附属学校参加実習(主免許校種)		授業実践基礎演習(中主免)	公立学校インターンシップ	公立学校等教育実習(オプション実習)			
		学校ボランティア実習								
	教育課題対応科目	人権教育論、メディアと教育								
			スポーツクラブ指導入門、国際教育論、児童・生徒のための日本語教育論A、日本語学習支援・実地研究B、学校教育と生活工学、学校園における農園芸実習Ⅰ、学校園における農園芸実習Ⅱ、性倫理と性教育、子どもの健康と身体形成、ジェンダー論							
			学校と子どもの安全(前期又は後期)							
					小中一貫教育論	教職キャリア実践論				
共通教育科目	基礎科目	日本国憲法(前期又は後期)								
		KYOKYOスタートアップセミナー	専攻基礎セミナー							
		数理・データサイエンス・AI								
		生涯スポーツ実習Ⅰ	生涯スポーツ実習Ⅱ							
		コミュニケーションのための英文法	総合英語							
	英語コミュニケーションA	英語コミュニケーションB	英語インテンシブリーディング	英語エクステンシブリーディング						
教養科目	「社会・文化と人間」科目群 「自然と人間」科目群 「その他」科目群									

Ⅱ. 教育課程表

◎最低修得単位数

本学において修得しなければならない最低の単位数は、本表のとおりです。

		専攻	教育学専攻	幼児教育専攻	発達障害教育専攻		
		卒業要件となる主免校種		小主免	幼主免	基礎免小主免	基礎免中主免
		(※)印の2種免許状の取得には、本表記載の135単位以外に、教育実習(副免実習)の単位修得が必要です。		小学校1種 + 中学校2種 (※)	幼稚園1種 + 小学校1種	小学校1種 + 特別支援学校1種	中学校1種 + 特別支援学校1種
共通教育科目	基礎科目	日本国憲法		2	2	2	2
		KYOKYOスタートアップセミナー		1	1	1	1
		専攻基礎セミナー		1	1	1	1
		数理・データサイエンス・AI		2	2	2	2
		外国語		6	6	6	6
		体育		2	2	2	2
教養科目				9	9	9	9
教育課題対応科目				13	11	13	11
専門教育科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		2	2	2	2
		教職の意義及び教員の役割・職務内容		2	2	2	2
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		2	2	2	2
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		2	2	2	2
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		2	2	2	2
		教育課程の意義及び編成の方法		2	2	2	2
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法		2	2	2	2
		総合的な学習(探究)の時間の指導法		2	2	2	2
		特別活動の指導法		2	2	2	2
		教育の方法及び技術		2	2	2	2
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
		生徒指導の理論及び方法		4	4	4	4
		教育相談の理論及び方法					
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目【幼免】	教育の方法及び技術			2		
		幼児理解の理論及び方法			2		
		教育相談の理論及び方法					
	領域及び保育内容の指導法に関する科目【幼免】	保育内容の指導法			11		
		幼稚園免許の領域に関する科目			5		
	教育実践に関する科目	教育実習	初等	5	5	5	
			中等				5
	教科及び教科の指導法に関する科目	教職実践演習		2	2	2	2
		各教科の指導法	初等	20	20	20	
中等			4			8	
小学校免許の教科に関する科目		10	10	10			
中学校(高等学校)免許の教科に関する科目					20		
専攻専門科目				28	14	32	36
卒業論文				6	6	6	6
合 計				135	135	135	135

網掛け部の単位修得は、各専攻の専攻専門科目の教育課程表を参照のこと。

		専攻	国語領域専攻、社会領域専攻、英語領域専攻 数学領域専攻、理科領域専攻、技術領域専攻 家庭領域専攻、美術領域専攻(美術分野) 音楽領域専攻、体育領域専攻	美術領域 専攻 (書道分野)		
		卒業要件となる主免校種				
		小主免	中主免	高主免		
		小学校1種 + 中学校2種(※)	中学校1種 + 小学校2種(※)	高等学校 1種 + 小学校1種		
		(※)印の2種免許状の取得には、本表記載の135単位以外に、教育実習(副免実習)の単位修得が必要です。				
共通 教育 科目	基礎 科目	日本国憲法	2	2	2	
		KYOKYOスタートアップセミナー	1	1	1	
		専攻基礎セミナー	1	1	1	
		数理・データサイエンス・AI	2	2	2	
		外国語	6	6	6	
		体育	2	2	2	
教養科目		9	9	9		
教育課題対応科目		13	11	11		
専門 教育 科目	教育の基礎的理解 に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	2	2	2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容	2	2	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	2	2	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	2	2	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	2	2	2	
		教育課程の意義及び編成の方法	2	2	2	
	道徳、総合的な学 習の時間等の指 導法及び生徒指 導、教育相談等 に関する科目	道徳の理論及び指導法	2	2	2	
		総合的な学習(探究)の時間の指導法	2	2	2	
		特別活動の指導法	2	2	2	
		教育の方法及び技術	2	2	2	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
		生徒指導の理論及び方法	4	4	4	
		教育相談の理論及び方法				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	道徳、総合的な学 習の時間等の指 導法及び生徒指 導、教育相談等 に関する科目【幼免】	教育の方法及び技術				
		幼児理解の理論及び方法				
		教育相談の理論及び方法				
	領域及び保育内 容の指導法に関 する科目【幼免】	保育内容の指導法				
		幼稚園免許の領域に関する科目				
	教育実践に関 する科目	教育実習	初等	5	3	
			中等		5	
	教科及び教科の指 導法に関する科目	教職実践演習		2	2	
				2	2	
		各教科の指導法	初等	20	12	20
			中等	4	8	4
			小学校免許の教科に関する科目	10	4	10
	中学校(高等学校)免許の教科に関する科目	28	40	27		
専攻専門科目						
卒業論文		6	6	6		
合 計		135	135	135		

網掛け部の単位修得は、各専攻の専攻専門科目の教育課程表を参照のこと。

共通教育科目 基礎科目及び教養科目

区分	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数
			1回生		2回生		3回生		4回生		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎科目	日本国憲法	BST 1 1 01	② (前又は後)								14単位
	KYOKYOスタートアップセミナー	BST 1 1 02	①								
	専攻基礎セミナー	BST 1 1 03		①							
	数理・データサイエンス・AI	BST 1 1 04	②								
	外国語		②	②	①	①					
	体育	生涯スポーツ実習 I	BSP 1 1 01	①							
	生涯スポーツ実習 II	BSP 1 1 02		①							
教養科目	社会・文化と人間	心理学	GSC 1 0 01			2				2単位	左の単位のほかに5単位修得すること。
		日本文学	GSC 1 0 02			2					
		中国文学	GSC 1 0 03			2					
		音楽	GSC 1 0 04			2					
		美術	GSC 1 0 05			2					
		人権と法	GSC 1 0 06			2					
		政治と社会	GSC 1 0 07			2					
		社会問題論	GSC 1 0 08			2					
		経済学	GSC 1 0 09			2					
		歴史学	GSC 1 0 10			2					
		地理学	GSC 1 0 11			2					
		言語学	GSC 1 0 12			2					
		メディア・リテラシー論	GSC 1 0 13			2					
自然と人間	数学	GNA 1 0 01			2				2単位		
	現代産業技術	GNA 1 0 02			2						
	物理学	GNA 1 0 03			2						
	化学	GNA 1 0 04			2						
	生物学	GNA 1 0 05			2						
	地学入門	GNA 1 0 06			2						
	生活科学	GNA 1 0 07			2						
	健康科学論	GNA 1 0 08			2						
	人間行動学	GNA 1 0 09			2						
	心理生理学	GNA 1 0 10			2						
その他	第二外国語(初級科目) 注. 1				1~						
	他大学履修科目(単位互換制度) 注. 2				2~						
	大学コンソーシアム京都 産学連携教育プログラム	GOT 2 0 01			2						
合 計										23単位	

注. 1 ドイツ語 I A・I B、ドイツ語コミュニケーション A・B、フランス語 I A・I B、フランス語コミュニケーション A・B、中国語 I A・I B、中国語コミュニケーション A・B、イタリア語 A・B、ハンガール I A・I B に限り、算入可能である。(ただし、①基礎科目「外国語(6単位)」で英語以外の言語を選択した場合は、当該選択した言語を除く、②外国人留学生は母語を除く)

注. 2 大学コンソーシアム京都などの単位互換制度で履修した他大学履修科目のうち、本学設置科目に読み替えて認定された単位を除く。

共通教育科目 外国語

1. 標準履修(下記「2.」及び「3.」に該当しない者)

授 業 科 目 名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数
		1回生		2回生		3回生		4回生		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
コミュニケーションのための英文法	BEN 1 1 01	①								6単位
総合英語	BEN 1 1 02		①							
英語コミュニケーションA	BEN 1 1 03	①								
英語コミュニケーションB	BEN 1 1 04		①							
英語インテンシブリーディング	BEN 2 1 01			①						
英語エクステンシブリーディング	BEN 2 1 02				①					

2. 英語学修の成果が本学で定める基準(※)に達している者

(次のいずれかを選択すること)

授 業 科 目 名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数
		1回生		2回生		3回生		4回生		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
ドイツ語 I A	BLS 1 0 01	①								6単位
ドイツ語 I B	BLS 1 0 02		①							
ドイツ語コミュニケーションA	BLS 1 0 03	①								
ドイツ語コミュニケーションB	BLS 1 0 04		①							
ドイツ語 II A	BLS 2 0 01			①						
ドイツ語 II B	BLS 2 0 02				①					
フランス語 I A	BLS 1 0 11	①								6単位
フランス語 I B	BLS 1 0 12		①							
フランス語コミュニケーションA	BLS 1 0 13	①								
フランス語コミュニケーションB	BLS 1 0 14		①							
フランス語 II A	BLS 2 0 11			①						
フランス語 II B	BLS 2 0 12				①					
中国語 I A	BLS 1 0 21	①								6単位
中国語 I B	BLS 1 0 22		①							
中国語コミュニケーションA	BLS 1 0 23	①								
中国語コミュニケーションB	BLS 1 0 24		①							
中国語 II A	BLS 2 0 21			①						
中国語 II B	BLS 2 0 22				①					

(※) 英語学修の成果が本学で定める基準(入学年度の3月末日までに、次のいずれかに該当する証明書を提出した場合)

- ・公益財団法人日本英語検定協会が実施する試験 通称「英検」準1級以上
- ・Educational Testing Service が実施する試験 通称「TOEFL」iBT72点以上 又は PBT527点以上
- ・一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会が実施する試験 通称「TOEIC」730点以上

3. 外国人留学生で日本語を主に履修する者

(次のいずれかを選択し、コミュニケーション2単位は母語以外の言語を選択すること。)

授 業 科 目 名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数
		1回生		2回生		3回生		4回生		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
日本語 I A	BLS 1 0 31	①								6単位
日本語 I B	BLS 1 0 32		①							
日本語 I C	BLS 1 0 33	①								
日本語 I D	BLS 1 0 34		①							
英語コミュニケーションA		①(前)								
英語コミュニケーションB		①(後)								
日本語 I A	BLS 1 0 31	①							6単位	
日本語 I B	BLS 1 0 32		①							
日本語 I C	BLS 1 0 33	①								
日本語 I D	BLS 1 0 34		①							
ドイツ語コミュニケーションA		①(前)								
ドイツ語コミュニケーションB		①(後)								
日本語 I A	BLS 1 0 31	①							6単位	
日本語 I B	BLS 1 0 32		①							
日本語 I C	BLS 1 0 33	①								
日本語 I D	BLS 1 0 34		①							
フランス語コミュニケーションA		①(前)								
フランス語コミュニケーションB		①(後)								
日本語 I A	BLS 1 0 31	①							6単位	
日本語 I B	BLS 1 0 32		①							
日本語 I C	BLS 1 0 33	①								
日本語 I D	BLS 1 0 34		①							
中国語コミュニケーションA		①(前)								
中国語コミュニケーションB		①(後)								

(※)外国人留学生で日本語を主に履修しない者は、上記「1.」又は「2.」のうち、母語以外の言語を選択すること。

4. 以下の授業科目は、自由に履修できる(上記2. のドイツ語・フランス語・中国語も自由に履修できる)

授 業 科 目 名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								備 考
		1回生		2回生		3回生		4回生		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
イタリア語A	BLS 1 0 41	1								共通教育科目「外国語」区 分の卒業要件単位数に、含 めることができない
イタリア語B	BLS 1 0 42		1							
ハンゲル I A	BLS 1 0 51	1								
ハンゲル I B	BLS 1 0 52		1							

教育課題対応科目

授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数					
		1回生		2回生		3回生		4回生		幼主免	小主免 小基礎免	中主免 中基礎免 高主免			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
公立学校等訪問演習	EDI 1 1 01		①							1単位					
附属学校参加実習	EDI 2 1 01			①						1単位					
介護等体験事前教育	EDI 2 1 02			①						1単位					
人権教育論	EDI 1 0 01	2								※	4単位 (4単位を超えて修得した場合は、 下欄の4単位に算入できる)				
メディアと教育	EDI 1 0 02	2													
授業実践基礎演習	EDI 2 0 01			2 (後又は前)											
公立学校インターンシップ	EDI 3 0 01					2									
初等教科教育実践論	EDI 3 0 11					2			4単位	4単位	4単位				
教職キャリア実践論	EDI 3 0 12					2									
学校ボランティア実習	EDI 1 0 11	1													
公立学校等教育実習 (オプション実習)	EDI 4 0 11						2								
スポーツクラブ指導入門	EDI 1 0 12	2										※			
小中一貫教育論	EDI 3 0 13					2									
国際教育論	EDI 1 0 13	2										※			
児童・生徒のための 日本語教育論 A	EDI 1 0 14	2										※			
日本語学習支援・ 実地研究 B	EDI 1 0 15	2										※			
学校教育と生活工学	EDI 1 0 16	2										※			
学校と子どもの安全	EDI 2 0 11			2								※			
学校園における 農園芸実習 I	EDI 1 0 17	2										※			
学校園における 農園芸実習 II	EDI 1 0 18	2										※			
性倫理と性教育	EDI 1 0 19	2										※			
子どもの健康と身体形成	EDI 1 0 20	2										※			
ジェンダー論	EDI 1 0 21	2										※			
合 計												11単位	13単位	11単位	

(注. 1) 幼主免(幼児教育専攻)者は、上表の最低修得単位数を満たすとともに、※印を付した授業科目から6単位(合計単位数・11単位に算入して良い)を修得しなければならない。

(注. 2) ①主免実習終了後、中主免等から小主免に主免校種を変更した場合 ②入学時に、「初等教育実習・5単位」を既修得単位として認定された場合 ③外国人留学生で「初等教育実習・5単位」を履修しない場合は(①・②・③とも所定の申請等が必要)、「初等教科教育実践論」を履修できないので、教育課題対応科目の選択科目から当該単位分(2単位)を修得すること。

教科及び教職に関する科目

1. 「小主免」(教育学、各教科領域専攻)

授 業 科 目 名		授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数	
			1回生		2回生		3回生		4回生			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念と歴史	PRF 1 1 01	② (前又は後)									2単位
	教 職 論	PRF 1 1 02	② (前又は後)									2単位
	公 教 育 経 営 論	PRF 2 0 01			2 (前又は後)							2単位
	教 育 社 会 学	PRF 2 0 02			2 (前又は後)							
	教 育 心 理 学	PRF 2 1 01			② (前又は後)							2単位
	特 別 支 援 教 育	PRF 1 1 03	② (前又は後)									2単位
	教 育 課 程 論	PRF 2 1 02			② (前又は後)							2単位
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	PRF 2 1 03			② (前又は後)							2単位
	総合的な学習の時間の指導法	PRF 3 1 01					② (前又は後)					2単位
	特別活動の指導法	PRF 3 1 02					② (前又は後)					2単位
	教育方法・ICT活用論	PRF 2 1 04			② (前又は後)							2単位
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	PRF 2 1 05			②							4単位
	教育相談の理論及び方法	PRF 2 1 06				②						
教育実践に関する科目	初 等 教 育 実 習	PRF 3 1 03					⑤					5単位
	教 職 実 践 演 習	PRF 4 1 01								②		2単位
教科及び教科の指導法に関する科目	初 等 国 語 科 教 育	ETM 2 3 01			② (前又は後)							20単位
	初 等 社 会 科 教 育	ETM 2 3 02			② (前又は後)							
	初 等 算 数 科 教 育	ETM 2 3 03			② (前又は後)							
	初 等 理 科 教 育	ETM 2 3 04			② (前又は後)							
	初 等 生 活 科 教 育	ETM 2 3 05			② (前又は後)							
	初 等 音 楽 科 教 育	ETM 2 3 06			② (前又は後)							
	初 等 図 画 工 作 科 教 育	ETM 2 3 07			② (前又は後)							
	初 等 体 育 科 教 育	ETM 2 3 08			② (前又は後)							
	初 等 家 庭 科 教 育	ETM 2 3 09			② (前又は後)							
	初 等 英 語 科 教 育	ETM 2 3 10			② (前又は後)							
	中 等 〇 〇 科 教 育 I					②						4単位
	中 等 〇 〇 科 教 育 II						②					
	小学校教科内容論〇〇		「小学校免許の教科に関する科目」の頁を参照								10単位	
			合 計									65単位

2. 「中主免」(各教科領域専攻)

授 業 科 目 名		授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数	
			1回生		2回生		3回生		4回生			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念と歴史	PRF 1 1 01	② (前又は後)									2単位
	教 職 論	PRF 1 1 02	② (前又は後)									2単位
	公 教 育 経 営 論	PRF 2 0 01			2 (前又は後)							2単位
	教 育 社 会 学	PRF 2 0 02			2 (前又は後)							
	教 育 心 理 学	PRF 2 1 01			② (前又は後)							2単位
	特 別 支 援 教 育	PRF 1 1 03	② (前又は後)									2単位
	教 育 課 程 論	PRF 2 1 02			② (前又は後)							2単位
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	PRF 2 1 03			② (前又は後)							2単位
	総合的な学習の時間の指導法	PRF 3 1 01					② (前又は後)					2単位
	特別活動の指導法	PRF 3 1 02					② (前又は後)					2単位
	教育方法・ICT活用論	PRF 2 1 04			② (前又は後)							2単位
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	PRF 2 1 05			②							4単位
	教育相談の理論及び方法	PRF 2 1 06				②						
教育実践に関する科目	中 等 教 育 実 習	PRF 3 1 04					⑤					5単位
	教 職 実 践 演 習	PRF 4 1 01							②			2単位
教科及び教科の指導法に関する科目	初 等 国 語 科 教 育	ETM 2 3 01			2 (前又は後)							左の単位のほかに 8単位修得すること。
	初 等 社 会 科 教 育	ETM 2 3 02			2 (前又は後)							
	初 等 算 数 科 教 育	ETM 2 3 03			2 (前又は後)							
	初 等 理 科 教 育	ETM 2 3 04			2 (前又は後)							
	初 等 生 活 科 教 育	ETM 2 3 05			2 (前又は後)							
	初 等 音 楽 科 教 育	ETM 2 3 06			2 (前又は後)							
	初 等 図 画 工 作 科 教 育	ETM 2 3 07			2 (前又は後)							
	初 等 体 育 科 教 育	ETM 2 3 08			2 (前又は後)							
	初 等 家 庭 科 教 育	ETM 2 3 09			2 (前又は後)							
	初 等 英 語 科 教 育	ETM 2 3 10			2 (前又は後)							
	中 等 ○ ○ 科 教 育 I					②						8単位
	中 等 ○ ○ 科 教 育 II						②					
	中 等 ○ ○ 科 教 育 III							②				
	中 等 ○ ○ 科 教 育 IV							②				
	小学校教科内容論○○		「小学校免許の教科に関する科目」の頁を参照									4単位
合 計											55単位	

3. 「幼主免」(幼児教育専攻)

授 業 科 目 名		授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数	
			1回生		2回生		3回生		4回生			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念と歴史	PRF 1 1 01		② (前又は後)								2単位
	教 職 論	PRF 1 1 02		② (前又は後)								2単位
	公 教 育 経 営 論	PRF 2 0 01			2 (前又は後)							2単位
	教 育 社 会 学	PRF 2 0 02			2 (前又は後)							2単位
	教 育 心 理 学	PRF 2 1 01			② (前又は後)							2単位
	特 別 支 援 教 育	PRF 1 1 03		② (前又は後)								2単位
	教 育 課 程 論	PRF 2 1 02			② (前又は後)							2単位
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	PRF 2 1 03			② (前又は後)							2単位
	総合的な学習の時間の指導法	PRF 3 1 01					② (前又は後)					2単位
	特別活動の指導法	PRF 3 1 02					② (前又は後)					2単位
	教育方法・ICT活用論	PRF 2 1 04			② (前又は後)							2単位
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	PRF 2 1 05			②							4単位
	教育相談の理論及び方法	PRF 2 1 06				②						
【幼免】	保育の方法及び技術	PRF 3 2 01						②				2単位
	幼児の心理と相談	PRF 3 2 02						②				2単位
領域及び保育内容の指導法に関する科目【幼免】	保育内容・健康の指導法	PTM 3 2 03						②				11単位
	保育内容・人間関係の指導法	PTM 2 2 04						②				
	保育内容・環境の指導法	PTM 2 2 05						②				
	保育内容・言葉の指導法	PTM 3 2 06						②				
	保育内容・表現の指導法	PTM 2 2 02				②						
	保 育 内 容 総 論	PTM 2 2 01			①							
	幼 児 と 健 康	PED 2 2 04				①						5単位
	幼 児 と 人 間 関 係	PED 2 2 01			①							
	幼 児 と 環 境	PED 2 2 05				①						
	幼 児 と 言 葉	PED 2 2 02			①							
幼 児 と 表 現	PED 2 2 03			①								
教育実践に関する科目	初 等 教 育 実 習	PRF 3 1 03						⑤				5単位
	教 職 実 践 演 習	PRF 4 1 01							②			2単位
教科及び教科の指導法に関する科目	初 等 国 語 科 教 育	ETM 2 3 01			② (前又は後)							20単位
	初 等 社 会 科 教 育	ETM 2 3 02			② (前又は後)							
	初 等 算 数 科 教 育	ETM 2 3 03			② (前又は後)							
	初 等 理 科 教 育	ETM 2 3 04			② (前又は後)							
	初 等 生 活 科 教 育	ETM 2 3 05			② (前又は後)							
	初 等 音 楽 科 教 育	ETM 2 3 06			② (前又は後)							
	初 等 図 画 工 作 科 教 育	ETM 2 3 07			② (前又は後)							
	初 等 体 育 科 教 育	ETM 2 3 08			② (前又は後)							
	初 等 家 庭 科 教 育	ETM 2 3 09			② (前又は後)							
	初 等 英 語 科 教 育	ETM 2 3 10			② (前又は後)							
	小学校教科内容論〇〇		「小学校免許の教科に関する科目」の頁を参照								10単位	
合 計											81単位	

4. 「小基礎免」(発達障害教育専攻)

授 業 科 目 名		授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数	
			1回生		2回生		3回生		4回生			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念と歴史	PRF 1 1 01		② (前又は後)								2単位
	教 職 論	PRF 1 1 02		② (前又は後)								2単位
	公 教 育 経 営 論	PRF 2 0 01				2 (前又は後)						2単位
	教 育 社 会 学	PRF 2 0 02				2 (前又は後)						
	教 育 心 理 学	PRF 2 1 01				② (前又は後)						2単位
	特 別 支 援 教 育	PRF 1 1 03		② (前又は後)								2単位
	教 育 課 程 論	PRF 2 1 02				② (前又は後)						2単位
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	PRF 2 1 03				② (前又は後)						2単位
	総合的な学習の時間の指導法	PRF 3 1 01						② (前又は後)				2単位
	特別活動の指導法	PRF 3 1 02						② (前又は後)				2単位
	教育方法・ICT活用論	PRF 2 1 04				② (前又は後)						2単位
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	PRF 2 1 05				②						4単位
	教育相談の理論及び方法	PRF 2 1 06					②					
教育実践に関する科目	初 等 教 育 実 習	PRF 3 1 03						⑤				5単位
	教 職 実 践 演 習	PRF 4 1 01								②		2単位
教科及び教科の指導法に関する科目	初 等 国 語 科 教 育	ETM 2 3 01				② (前又は後)						20単位
	初 等 社 会 科 教 育	ETM 2 3 02				② (前又は後)						
	初 等 算 数 科 教 育	ETM 2 3 03				② (前又は後)						
	初 等 理 科 教 育	ETM 2 3 04				② (前又は後)						
	初 等 生 活 科 教 育	ETM 2 3 05				② (前又は後)						
	初 等 音 楽 科 教 育	ETM 2 3 06				② (前又は後)						
	初 等 図 画 工 作 科 教 育	ETM 2 3 07				② (前又は後)						
	初 等 体 育 科 教 育	ETM 2 3 08				② (前又は後)						
	初 等 家 庭 科 教 育	ETM 2 3 09				② (前又は後)						
	初 等 英 語 科 教 育	ETM 2 3 10				② (前又は後)						
	小学校教科内容論〇〇		「小学校免許の教科に関する科目」の頁を参照								10単位	
合 計											61単位	

5. 「中基礎免」(発達障害教育専攻)

授 業 科 目 名		授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数	
			1回生		2回生		3回生		4回生			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念と歴史	PRF 1 1 01	② (前又は後)									2単位
	教 職 論	PRF 1 1 02	② (前又は後)									2単位
	公 教 育 経 営 論	PRF 2 0 01			2 (前又は後)							2単位
	教 育 社 会 学	PRF 2 0 02			2 (前又は後)							
	教 育 心 理 学	PRF 2 1 01			② (前又は後)							2単位
	特 別 支 援 教 育	PRF 1 1 03	② (前又は後)									2単位
	教 育 課 程 論	PRF 2 1 02			② (前又は後)							2単位
道徳、総合的な学習の時間等の指 導法及び生徒指導、教育相談等に 関する科目	道徳の理論及び指導法	PRF 2 1 03			② (前又は後)							2単位
	総合的な学習の時間の指 導 法	PRF 3 1 01					② (前又は後)					2単位
	特 別 活 動 の 指 導 法	PRF 3 1 02					② (前又は後)					2単位
	教育方法・ICT活用論	PRF 2 1 04			② (前又は後)							2単位
	生徒指導・進路指導の理 論 及 び 方 法	PRF 2 1 05			②							4単位
	教育相談の理論及び方法	PRF 2 1 06				②						
教育実践に関する科目	中 等 教 育 実 習	PRF 3 1 04					⑤					5単位
	教 職 実 践 演 習	PRF 4 1 01								②		2単位
教科及び教科の指導法に 関する科目	中 等 〇 〇 科 教 育 I					②						8単位
	中 等 〇 〇 科 教 育 II						②					
	中 等 〇 〇 科 教 育 III							②				
	中 等 〇 〇 科 教 育 IV							②				
合 計											39単位	

6. 「高主免」(美術領域専攻(書道分野))

授 業 科 目 名		授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数	
			1回生		2回生		3回生		4回生			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念と歴史	PRF 1 1 01	② (前又は後)									2単位
	教 職 論	PRF 1 1 02	② (前又は後)									2単位
	公 教 育 経 営 論	PRF 2 0 01			2 (前又は後)							2単位
	教 育 社 会 学	PRF 2 0 02			2 (前又は後)							
	教 育 心 理 学	PRF 2 1 01			② (前又は後)							2単位
	特 別 支 援 教 育	PRF 1 1 03	② (前又は後)									2単位
	教 育 課 程 論	PRF 2 1 02			② (前又は後)							2単位
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	PRF 2 1 03			② (前又は後)							2単位
	総合的な学習の時間の指導法	PRF 3 1 01					② (前又は後)					2単位
	特別活動の指導法	PRF 3 1 02					② (前又は後)					2単位
	教育方法・ICT活用論	PRF 2 1 04			② (前又は後)							2単位
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	PRF 2 1 05			②							4単位
	教育相談の理論及び方法	PRF 2 1 06				②						
教育実践に関する科目	初 等 教 育 実 習	PRF 4 1 02							③			3単位
	中 等 教 育 実 習	TPF 3 1 04					⑤					5単位
	教 職 実 践 演 習	TPF 4 1 01								②		2単位
教科及び教科の指導法に関する科目	初 等 国 語 科 教 育	ETM 2 3 01			② (前又は後)							20単位
	初 等 社 会 科 教 育	ETM 2 3 02			② (前又は後)							
	初 等 算 数 科 教 育	ETM 2 3 03			② (前又は後)							
	初 等 理 科 教 育	ETM 2 3 04			② (前又は後)							
	初 等 生 活 科 教 育	ETM 2 3 05			② (前又は後)							
	初 等 音 楽 科 教 育	ETM 2 3 06			② (前又は後)							
	初 等 図 画 工 作 科 教 育	ETM 2 3 07			② (前又は後)							
	初 等 体 育 科 教 育	ETM 2 3 08			② (前又は後)							
	初 等 家 庭 科 教 育	ETM 2 3 09			② (前又は後)							
	初 等 英 語 科 教 育	ETM 2 3 10			② (前又は後)							
	中 等 書 道 科 教 育 I	STM 2 6 11			②							4単位
	中 等 書 道 科 教 育 II	STM 2 6 12				②						
	小学校教科内容論〇〇		「小学校免許の教科に関する科目」の頁を参照								10単位	
合 計										68単位		

中等教科教育 授業科目一覧

教科 (校種)	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								履修要領	
			1回生		2回生		3回生		4回生			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
国語 (中免・高免)	中等国語科教育Ⅰ	STM 2 4 01				2						各自が選択する教科に応じて修得すること。 (必修科目に注意すること)
	中等国語科教育Ⅱ	STM 3 4 01					2					
	中等国語科教育Ⅲ	STM 3 5 01						2				
	中等国語科教育Ⅳ	STM 3 5 02						2				
社会 (中免)	中等社会(公民)科教育Ⅰ	STM 2 4 11				2						
	中等社会(地歴)科教育Ⅱ	STM 3 4 11					2					
	中等社会(公民)科教育Ⅲ	STM 3 5 11						2				
	中等社会(地歴)科教育Ⅳ	STM 3 5 12						2				
数学 (中免・高免)	中等数学科教育Ⅰ	STM 2 4 21				2						
	中等数学科教育Ⅱ	STM 3 4 21					2					
	中等数学科教育Ⅲ	STM 3 5 21						2				
	中等数学科教育Ⅳ	STM 3 5 22						2				
理科 (中免・高免)	中等理科教育Ⅰ	STM 2 4 31				2						
	中等理科教育Ⅱ	STM 3 4 31					2					
	中等理科教育Ⅲ	STM 3 5 31						2				
	中等理科教育Ⅳ	STM 3 5 32						2				
音楽 (中免・高免)	中等音楽科教育Ⅰ	STM 2 4 41				2						
	中等音楽科教育Ⅱ	STM 3 4 41					2					
	中等音楽科教育Ⅲ	STM 3 5 41						2				
	中等音楽科教育Ⅳ	STM 3 5 42						2				
美術 (中免・高免)	中等美術科教育Ⅰ	STM 2 4 51				2						
	中等美術科教育Ⅱ	STM 3 4 51					2					
	中等美術科教育Ⅲ	STM 3 5 51						2				
	中等美術科教育Ⅳ	STM 3 5 52						2				
保健体育 (中免・高免)	中等保健体育科教育Ⅰ	STM 2 4 61				2						
	中等保健体育科教育Ⅱ	STM 3 4 61					2					
	中等保健体育科教育Ⅲ	STM 3 5 61						2				
	中等保健体育科教育Ⅳ	STM 3 5 62						2				

教科 (校種)	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								履修要領	
			1回生		2回生		3回生		4回生			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
技術 (中免)	中等技術科教育Ⅰ	STM 2 4 71				2						各自が選択する教科に応じて修得すること。 (必修科目に注意すること)
	中等技術科教育Ⅱ	STM 3 4 71					2					
	中等技術科教育Ⅲ	STM 3 5 71						2				
	中等技術科教育Ⅳ	STM 3 5 72						2				
家庭 (中免・高免)	中等家庭科教育Ⅰ	STM 2 4 81				2						
	中等家庭科教育Ⅱ	STM 3 4 81					2					
	中等家庭科教育Ⅲ	STM 3 5 81						2				
	中等家庭科教育Ⅳ	STM 3 5 82						2				
英語 (中免・高免)	中等英語科教育Ⅰ	STM 2 4 91				2						
	中等英語科教育Ⅱ	STM 3 4 91					2					
	中等英語科教育Ⅲ	STM 3 5 91						2				
	中等英語科教育Ⅳ	STM 3 5 92						2				
地理歴史 (高免)	中等社会(地歴)科教育Ⅱ							2				
	中等社会(地歴)科教育Ⅳ								2			
公民 (高免)	中等社会(公民)科教育Ⅰ					2						
	中等社会(公民)科教育Ⅲ							2				
工芸 (高免)	中等工芸科教育Ⅰ	STM 2 6 01			2							
	中等工芸科教育Ⅱ	STM 2 6 02				2						
書道 (高免)	中等書道科教育Ⅰ	STM 2 6 11			2							
	中等書道科教育Ⅱ	STM 2 6 12				2						
情報 (高免)	中等情報科教育Ⅰ	STM 2 6 21				2						
	中等情報科教育Ⅱ	STM 3 6 21					2					
農業 (高免)	中等農業科教育Ⅰ	STM 2 6 31			2							
	中等農業科教育Ⅱ	STM 2 6 32				2						
工業 (高免)	中等工業科教育Ⅰ	STM 2 6 41				2						
	中等工業科教育Ⅱ	STM 2 6 42				2						

小学校免許の教科に関する科目

1. 「小主免」「幼主免」「小基礎免」「高主免」(教育学、幼児教育、発達障害教育、各教科領域専攻)

授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								教育学専攻	幼児教育専攻	発達障害教育専攻	国語領域専攻	社会領域専攻	英語領域専攻	数学領域専攻	理科領域専攻	技術領域専攻	家庭領域専攻	美術領域専攻 (美術分野)	美術領域専攻 (書道分野)	音楽領域専攻	体育領域専攻	履修要領
		1回生		2回生		3回生		4回生																
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期															
小学校教科内容論国語	EED1001	2 (前又は後)								②	②	②	×	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	1. ○付きの単位を含み 10単位 修得すること。 2. ×の単位を除き、履修することが望ましい。
小学校教科内容論理科	EED1002		2							②	②	②	②	②	②	×	②	②	②	②	②	②	②	
小学校教科内容論体育	EED1003	2								②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	×		
小学校教科内容論算数	EED1004	2 (前又は後)													×									
小学校教科内容論生活	EED1005	2																						
小学校教科内容論音楽	EED1006	2 (前又は後)																			×			
小学校教科内容論図画工作	EED1007		2																	×				
小学校教科内容論社会	EED1008		2										×											
小学校教科内容論家庭	EED1009	2 (前又は後)																	×					
小学校教科内容論英語	EED1010	2 (前又は後)												×										
最低修得単位数										10単位														

2. 「中主免」(各教科領域専攻)

授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								教育学専攻	発達障害教育専攻	国語領域専攻	社会領域専攻	英語領域専攻	数学領域専攻	理科領域専攻	技術領域専攻	家庭領域専攻	美術領域専攻 (美術分野)	音楽領域専攻	体育領域専攻	履修要領	
		1回生		2回生		3回生		4回生															
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期														
小学校教科内容論国語	EED1001	2 (前又は後)									×												1. 4単位 修得すること。 2. ×の単位を除き、履修することが望ましい。
小学校教科内容論理科	EED1002		2											×									
小学校教科内容論体育	EED1003	2																		×			
小学校教科内容論算数	EED1004	2 (前又は後)												×									
小学校教科内容論生活	EED1005	2																					
小学校教科内容論音楽	EED1006	2 (前又は後)																		×			
小学校教科内容論図画工作	EED1007		2																×				
小学校教科内容論社会	EED1008		2									×											
小学校教科内容論家庭	EED1009	2 (前又は後)																×					
小学校教科内容論英語	EED1010	2 (前又は後)											×										
最低修得単位数										4単位													

得意分野パッケージ科目

パッケージ名称	外国人児童生徒等教育 【代表教員 浜田 麻里(国文学科)】			
パッケージ概要	在在外国人の増加に伴い、学校現場でも多様な言語文化背景をもつ子どもに対する対応が重要な課題となっている。本パッケージは外国人児童生徒等の指導について、日本語指導、文化適応、キャリア教育等、幅広い視点から求められる専門性を養成する。			
パッケージ履修証明書発行要件	◎を付した2科目及び○を付した3科目のうちいずれか1科目を含め4科目8単位以上修得			
授業科目名	単位	標準履修期	設置科目区分	備考
◎ 児童・生徒のための日本語教育論A	2	1～4前	教育課題対応科目	
◎ 児童・生徒のための日本語教育論B	2	2後	国語領域専攻	
第2言語習得論	2	3前	国語領域専攻	
日本語教育方法論	2	3後	国語領域専攻	
○ 帰国/外国籍児童・生徒教育の研究	2	3後	国語領域専攻	
○ 日本語学習支援・実地研究A	2	1前	国語領域専攻	
○ 日本語学習支援・実地研究B	2	1～4後	教育課題対応科目	

パッケージ名称	発達障害の教育 【代表教員 相澤 雅文(総合教育臨床センター)】			
パッケージ概要	特別支援教育は、インクルーシブ教育システムの構築を目指して、幼稚園から高等学校までの全ての学校種で専門性が求められる。本パッケージは、発達障害のある幼児児童生徒の理解と対応方法に対する基礎的な知識や技能を身につけることを目的としている。			
パッケージ履修証明書発行要件	下記授業科目の5科目8単位修得			
授業科目名	単位	標準履修期	設置科目区分	備考
◎ 特別支援教育	2	1前・後	教職科目	
◎ 障害児生理・病理臨床 I A	1	2前	発達障害教育専攻	
◎ 障害児生理・病理臨床 I B	1	2後	発達障害教育専攻	
◎ LD等教育総論	2	2後	発達障害教育専攻	
◎ 情緒障害児特講	2	2前	発達障害教育専攻	

パッケージ名称	幼児教育 【代表教員 古賀 松香(幼児教育科)】			
パッケージ概要	質の高い幼児教育は、子どものその後の成長を支える重要なものであることが研究上明らかになり、世界的に注目を浴びている。我が国においても幼児教育の無償化など、幼児教育は重点政策課題に位置付くようになった。本パッケージは、今後の幼小接続教育等において活躍できる教員の養成に向けて、幼児教育に関する基礎的な知識を身につけ、質の高い幼児教育の重要性を理解することを目的とする。			
パッケージ履修証明書発行要件	下記授業科目のうち、3科目6単位以上修得			
授業科目名	単位	標準履修期	設置科目区分	備考
幼児教育学総論	2	1前	幼児教育専攻	
幼児心理学総論	2	2前	幼児教育専攻	
児童福祉概説	2	1後	幼児教育専攻	
保育内容総論	1	2前	教職科目	

パッケージ名称	グローバル教員育成 【担当委員会:教務委員会】			
パッケージ概要	本パッケージは、グローバル(Global)な視点を持ちながら、地域(Local)の特色を大切にして、学校現場で教育にたずさわり、教育のグローバル化に引き合い実践できる教員の育成に向けて、求められる基礎的な資質能力を学ぶことを目的としている。			
パッケージ履修証明書発行要件	下記授業科目から、◎を付した3科目を含め10単位以上修得、及び海外協定校での短期研修等の活動への参加			
授業科目名	単位	標準履修期	設置科目区分	備考
◎ 国際教育論	2	1～4後	教育課題対応科目	
小学校教科内容論英語	2	1前・後	小学校教科内容論	
初等英語科教育	2	2前・後	教職科目	
◎ 児童・生徒のための日本語教育論A	2	1～4前	教育課題対応科目	
ドイツ語・フランス語・中国語の 各 I A・I B・コミュニケーションA・B ハンデル I A・I B イタリア語A・B	各1	1～4	共通教育科目(外国語)	すべての単位の算入が可能
英語(プラクティカル)中級・上級 英語(アカデミック)中級・上級 英語(会話)中級・上級	各1	1～4	自由科目(外国語)	すべての単位の算入が可能
◎ 公立学校インターンシップ	2	3後	教育課題対応科目	
学校ボランティア実習	1	1～4	教育課題対応科目	
海外協定校での短期研修(韓国・タイ・中国から選択) 海外協定校での短期留学 京都教育大学国際交流活動認定証の取得 龍谷大学(単位互換)オーストラリア・メルボルン単位留学	いずれかの活動を行うこと			

教育学専攻

区分	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数			
			1回生		2回生		3回生		4回生					
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
中学校2種免許最低修得単位												10～18単位（注） 【選択した免許教科ごとに必要な単位数】 国語：10単位、技術・音楽：11単位、 社会・数学・理科・家庭・美術：12単位、 英語：14単位、保健体育：18単位		
専攻専門科目	教育学基礎講読	KYO1701		②								4単位		
	教育心理学基礎講読	KYO1702		②										
	教育哲学演習	KYO3003	教育学を専攻する場合は、3科目6単位を修得することが望ましい。						2			14単位～6単位 (24単位から選択した中学免許教科の最低修得単位を引いた単位数)		
	教育方法学演習	KYO3004									2			
	教育史演習	KYO3005									2			
	公教育経営演習	KYO3001									2			
	教育社会学調査演習	KYO3002					2							
	教育哲学	KYO2001			2									
	授業研究	KYO2005				2								
	日本教育史	KYO2002			2									
	西洋教育史	KYO2006				2								
	学校経営論	KYO2003			2									
	学校教育と法規	KYO2004			2									
	教育社会学特講	KYO2007				2								
	社会教育論	KYO2008				2								
	[公教育経営論]				2						「教職に関する科目(教育の基礎的理解に関する科目)」として卒業要件単位に算入した場合、専攻専門の単位としない。			
	[教育社会学]				2									
	心理学分野	教育統計学演習Ⅰ	KYO1021		2								※専攻専門科目の履修に当たっては担任の指導を受けること。	
		精神検査法演習Ⅰ	KYO1022		2									
教育心理学実験ⅠA		KYO2021			1									
教育心理学実験ⅠB		KYO2026				1								
教育心理学実験Ⅱ		KYO3021					1							
教育統計学演習Ⅱ		KYO2022			2									
精神検査法演習Ⅱ		KYO2023			2									
教育心理学課題実験		KYO4021							1					
教育心理学演習		KYO3024					2							
発達心理学演習		KYO3025					2							
臨床心理学演習		KYO3026					2							
青年心理学演習		KYO3027					2							
心理療法論		KYO2024			2									
発達心理学講読		KYO2027				2								
生涯発達心理学		KYO3028					2							
臨床人格心理学特講		KYO3022					2							
児童の心理学		KYO2025			2									
認知発達心理学特講	KYO2028				2									
対人関係論特講	KYO3023					2								
卒業論文	KYO4701								⑥	6単位				
合 計											34単位			

(注) 選択した免許教科に対応する中学校2種免許状取得に必要な「教科に関する専門的事項」の単位を修得し、中学校2種免許状取得に必要な単位を構成すること。
 (授業科目名及び単位数は「Ⅲ. 教育職員免許状の所要資格について」の「教科に関する専門的事項」のページを参照)

幼児教育専攻

区分	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数				
			1回生		2回生		3回生		4回生						
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
専攻専門科目	器 楽 I	YOU 1 0 02		1											14単位
	器 楽 II A	YOU 2 0 01			1										
	器 楽 II B	YOU 2 0 03				1									
	音 楽 基 礎	YOU 1 0 03		1											
	幼 児 教 育 学 総 論	YOU 1 0 01	2												
	幼 児 心 理 学 総 論	YOU 2 0 02			2										
	幼 児 の 身 体 表 現	YOU 3 0 01					2								
	幼 児 の 造 形 基 礎	YOU 2 0 04				1									
	幼 児 の 造 形 表 現	YOU 3 0 02					2								
	音 楽 教 育 指 導 法	YOU 3 0 03					1								
	幼 児 教 育 演 習 I	YOU 3 0 04						2							
	幼 児 教 育 演 習 II	YOU 4 0 01							2						
	幼 児 教 育 演 習 III	YOU 4 0 02								2					
	児 童 文 化 実 践 論	YOU 3 0 05						2							
児 童 福 祉 概 説	YOU 1 0 04		2												
卒 業 論 文	YOU 4 7 01											⑥		6単位	
合 計														20単位	

発達障害教育専攻

区分	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数			
			1回生		2回生		3回生		4回生		基礎免 小主免		基礎免 中主免	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
中学校1種免許最低修得単位												20単位 (注)		
専攻 専門科目	特別支援教育基礎理論	HAT1701		②								2単位	左の単位のほかに 4単位 修得すること。 左の単位のほかに 8単位 修得すること。	2単位
	知的障害心理学概論	HAT2701			②							2単位		2単位
	発達障害学特講	HAT2001			2							左の単位のほかに 4単位 修得すること。		左の単位のほかに 8単位 修得すること。
	障害児心理特講	HAT2002			2									
	障害児動作概論	HAT1001		2										
	心理・発達検査法	HAT3001					2							
	肢体不自由概論	HAT2703				②						2単位		2単位
	障害児診断学	HAT2704				②						2単位		2単位
	障害児教育方法	HAT3701						②				2単位		2単位
	障害児教育特講	HAT3011					2					左の単位のほかに 4単位 修得すること。		左の単位のほかに 8単位 修得すること。
	障害児指導法	HAT3012					2							
	障害児教育臨床A	HAT3013					1							
	障害児教育臨床B	HAT3014						1						
	障害児心理臨床A	HAT2011			1									
	障害児心理臨床B	HAT2014			1									
	障害児生理・病理臨床IA	HAT2012			1									
	障害児生理・病理臨床IB	HAT2015				1								
	障害児生理・病理臨床IIA	HAT2013			1									
	障害児生理・病理臨床IIB	HAT2016				1								
	肢体不自由教育	HAT1702		②								2単位		2単位
	病弱教育	HAT3702						②				2単位		2単位
	視覚障害教育総論	HAT1703		②								2単位		2単位
	聴覚障害児の教育	HAT2702			②							2単位		2単位
	重複障害教育総論	HAT3703						②				2単位		2単位
	L D 等教育総論	HAT2022				2						左の単位のほかに 4単位 修得すること。		左の単位のほかに 8単位 修得すること。
	情緒障害児特講	HAT2021			2									
	障害児教育実習	HAT3704							④			4単位		4単位
	特別支援教育演習I	HAT3032					2					左の単位のほかに 4単位 修得すること。		左の単位のほかに 8単位 修得すること。
特別支援心理演習I	HAT3033					2								
特別支援生理・病理演習I	HAT3034					2								
特別支援教育演習II	HAT4031							2						
特別支援教育演習III	HAT4034								2					
特別支援心理演習II	HAT4032							2						
特別支援心理演習III	HAT4035								2					
特別支援生理・病理演習II	HAT4033							2						
特別支援生理・病理演習III	HAT4036								2					
障害児データ解析演習	HAT3031					2								
卒業論文	HAT4701									⑥	6単位	6単位		
合 計												38単位	62単位	

(注) 選択した免許教科に対応する中学校1種免許状取得に必要な「教科に関する専門的事項」の単位を修得し、中学校1種免許状取得に必要な単位を構成すること。
(授業科目名及び単位数は「Ⅲ. 教育職員免許状の所要資格について」の「教科に関する専門的事項」のページ参照)

国語領域専攻

区分	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数	
			1回生		2回生		3回生		4回生		小主免	中主免
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専攻専門科目	国語学概説	KOK1701		②							10単位	10単位
	国文学概説	KOK1702		②								
	漢文学概説	KOK2701			②							
	国語教育概説	KOK2702			②							
	基本書法	KOK3701					②					
	国語学演習	KOK2001			2						18単位	左の単位のほかに20単位修得すること。
	国文学演習A	KOK2002			2							
	国文学演習B	KOK2004				2						
	漢文学演習A	KOK2005				2						
	国語科教育演習A	KOK2003			2							
	国語科教育演習B	KOK2006				2						
	国語表現論	KOK2012				2						
	国語音声学	KOK3017						2				
	国語学特講	KOK3018						2				
	近・現代文学演習	KOK3019						2				
	古典文学演習	KOK3011					2					
	近・現代文学特講	KOK3012					2					
	古典文学特講	KOK2011			2							
	国文学特講	KOK3020						2				
	漢文学演習B	KOK3021						2				
	漢文学演習C	KOK3022						2				
	漢文学特講A	KOK3013					2					
	漢文学特講B	KOK3023						2				
	国語科教育演習C	KOK3014					2					
	国語科教育特講A	KOK3015					2					
	国語科教育特講B	KOK3024						2				
	国語科教育特講C	KOK3016						2				
	小学校国語科文学教材論	KOK1032		2								
	小学校国語科漢文教材論	KOK2031			2							
	日本語学習支援・実地研究A	KOK1031	2									
	児童・生徒のための日本語教育論B	KOK2032				2						
	第2言語習得論	KOK3031					2					
日本語教育方法論	KOK3032						2					
帰国／外国籍児童・生徒教育の研究	KOK3033						2					
[中国語ⅡA]				1		外国語科目として修得した場合は、専攻専門の単位に算入しない。						
[中国語ⅡB]				1								
卒業論文	KOK4701								⑥	6単位	6単位	
合 計										34単位	46単位	

社会領域専攻

区分	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数			
			1回生		2回生		3回生		4回生		小主免	中主免		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専攻専門科目	日本史概論	SHA 2 7 01			②						6単位	左の単位のほかに16単位修得すること。	20単位	
	外国史概論	SHA 2 7 02			②									
	地理学概論	SHA 2 7 03			②									
	法学概論	SHA 1 0 02		2							2単位			20単位
	政治学概論	SHA 1 0 01	2											
	社会学概論	SHA 2 0 02				2					2単位			
	経済学概論	SHA 1 0 03		2										
	哲学概論	SHA 3 0 01					2				2単位			
	倫理学概論	SHA 1 0 04		2										
	地誌学概論	SHA 2 0 01			2						20単位			
	日本史研究	SHA 2 0 13				2								
	日本史特講	SHA 3 0 11					2							
	近現代史研究	SHA 2 0 11				2								
	近現代史特講	SHA 2 0 14					2							
	西洋史研究	SHA 3 0 19						2						
	西洋史特講	SHA 3 0 12						2						
	自然地理学	SHA 2 0 15				2								
	地理学研究	SHA 2 0 12				2								
	地理学特講	SHA 3 0 20							2					
	社会学研究	SHA 3 0 21							2					
	社会学特講	SHA 3 0 13							2					
	経済学研究	SHA 3 0 14							2					
	経済学特講	SHA 3 0 22								2				
	法学研究	SHA 3 0 15							2					
	法学特講	SHA 3 0 23								2				
	政治学研究	SHA 2 0 16					2							
	政治学特講	SHA 3 0 16							2					
	哲学倫理学研究	SHA 3 0 17							2					
哲学倫理学特講	SHA 2 0 17					2								
社会科教育演習 I A	SHA 3 0 18							2						
社会科教育演習 I B	SHA 3 0 24								2					
社会科教育演習 II A	SHA 4 0 11								2					
社会科教育演習 II B	SHA 4 0 12								2					
卒業論文	SHA 4 7 01								⑥	6単位	6単位			
合 計										34単位	46単位			

英語領域専攻

区分	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数					
			1回生		2回生		3回生		4回生		小主免		中主免			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
専攻専門科目	英語学概説 I	EIG 3 7 01					②					4単位	左の単位のほかに10単位修得すること。	4単位	左の単位のほかに6単位修得すること。	左の単位のほかに16単位修得すること。
	英語学概説 II	EIG 3 7 02					②									
	英語文学基礎講読 I	EIG 2 7 01			②											
	英語文学基礎講読 II	EIG 2 7 03			②											
	コミュニケーション・インク・リッシュ I	EIG 2 7 02			②											
	コミュニケーション・インク・リッシュ II A	EIG 2 7 04			②											
	コミュニケーション・インク・リッシュ II B	EIG 3 0 01					2									
	比較文化	EIG 3 7 03						②								
	英語学基礎	EIG 2 0 01				2										
	英語学演習 A	EIG 4 0 01							2							
	英語学演習 B	EIG 4 0 03								2						
	英語文学演習 I	EIG 4 0 02							2							
	英語文学演習 II	EIG 4 0 04								2						
	リーディング I	EIG 1 7 01		①												
	リスニング I A	EIG 3 0 02					1									
	リスニング I B	EIG 3 7 04							①							
	ライティング I	EIG 1 7 02			②											
	ライティング II	EIG 3 0 03					2									
	英文学史 A	EIG 3 0 11					2									
	英文学史 B	EIG 3 0 12					2									
	英語科教育演習 A	EIG 2 0 11			2											
	英語科教育演習 B	EIG 2 0 12				2										
	英語学研究 A	EIG 3 0 13					2									
	英語学研究 B	EIG 3 0 16						2								
	英語文学研究 A	EIG 3 0 14					2									
	英語文学研究 B	EIG 3 0 17						2								
	英語科教育研究 A	EIG 3 0 15					2									
	英語科教育研究 B	EIG 3 0 18						2								
	[ドイツ語 II A]				1											
	[ドイツ語 II B]					1										
[フランス語 II A]				1												
[フランス語 II B]					1											
ヨーロッパ文化 I	EIG 3 0 21					2										
ヨーロッパ文化 II	EIG 3 0 22						2									
英語プログレッシブ A	EIG 2 0 21			1												
英語プログレッシブ B	EIG 2 0 24				1											
ドイツ語プログレッシブ A	EIG 2 0 22			1												
ドイツ語プログレッシブ B	EIG 2 0 25				1											
フランス語プログレッシブ A	EIG 2 0 23			1												
フランス語プログレッシブ B	EIG 2 0 26				1											
卒業論文	EIG 4 7 01								⑥							
計											34単位	46単位				

数学領域専攻

区分	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数		
			1回生		2回生		3回生		4回生		小主免	中主免	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専攻専門科目	代 数 学 序 論 I	SUU 1 7 01		②							12単位	12単位	左の単位のほかに 20単位 修得すること。
	幾 何 学 序 論 I	SUU 1 7 02		②									
	解 析 学 序 論 I	SUU 2 7 01			④								
	統 計 学	SUU 3 7 02						②					
	コ ン ピ ュ ー タ ・ 情 報 処 理 I	SUU 3 7 01					②						
	代 数 学 序 論 II	SUU 2 0 01			2						16単位	8単位	
	幾 何 学 序 論 II	SUU 2 0 02			2								
	解 析 学 序 論 II	SUU 2 0 03				4							
	微 分 方 程 式	SUU 2 0 04				2							
	代 数 学 本 論 I	SUU 3 0 01					2						
	代 数 学 本 論 II	SUU 3 0 05						2					
	幾 何 学 本 論 I	SUU 3 0 02					2						
	幾 何 学 本 論 II	SUU 3 0 06						2					
	解 析 学 本 論 I	SUU 3 0 03					2						
	解 析 学 本 論 II	SUU 3 0 07						2					
	偏 微 分 方 程 式	SUU 3 0 04					2						
	コ ン ピ ュ ー タ ・ 情 報 処 理 II	SUU 3 0 08						2					
	数 学 基 礎 I	SUU 1 0 11	2										
	現 代 代 数 学	SUU 4 0 11							2				
	代 数 学 演 習	SUU 2 0 11			2								
	代 数 学 特 別 講 義	SUU 4 0 12							2				
	代 数 学 講 究 I	SUU 4 0 13							2				
	代 数 学 講 究 II	SUU 4 0 22								2			
	現 代 幾 何 学	SUU 4 0 14							2				
	幾 何 学 演 習	SUU 2 0 12			2								
	幾 何 学 特 別 講 義	SUU 4 0 15							2				
	幾 何 学 講 究 I	SUU 4 0 16							2				
	幾 何 学 講 究 II	SUU 4 0 23								2			
	現 代 解 析 学	SUU 4 0 17							2				
	解 析 学 演 習	SUU 2 0 13			2								
	解 析 学 特 別 講 義	SUU 4 0 18							2				
	解 析 学 講 究 I	SUU 4 0 19							2				
	解 析 学 講 究 II	SUU 4 0 24								2			
現 代 数 学 科 教 育	SUU 3 0 12						2						
数 学 科 教 育 特 別 講 義	SUU 3 0 13						2						
数 学 科 教 育 講 究 I	SUU 4 0 20							2					
数 学 科 教 育 講 究 II	SUU 4 0 25								2				
情 報 学 講 究 I	SUU 4 0 21							2					
情 報 学 講 究 II	SUU 4 0 26								2				
プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎 I	SUU 2 0 14			2									
プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎 II	SUU 3 0 11				2								
卒 業 論 文	SUU 4 7 01								⑥	6単位	6単位		
合 計										34単位	46単位		

理科領域専攻

区分	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数	
			1回生		2回生		3回生		4回生		小主免	中主免
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専攻専門科目	物理学 I	RIK 1 7 03		①							22単位	22単位
	化学 I	RIK 1 7 04		①								
	生物学 I	RIK 1 7 05		①								
	地学 I	RIK 1 7 06		①								
	物理学基礎実験	RIK 1 7 01		②								
	化学基礎実験	RIK 1 7 07		②								
	生物学基礎実験	RIK 1 7 02		②								
	地学基礎実験	RIK 1 7 08		②								
	物理学 II	RIK 2 7 03				②						
	化学 II	RIK 2 7 01				②						
	生物学 II	RIK 2 7 04				②						
	地学 II	RIK 2 7 02				②						
	理科教育総合演習	RIK 4 7 01								②		
	物理教育実験	RIK 2 0 03				2					2単位	2単位
	化学教育実験	RIK 2 0 01				2						
	生物学実験	RIK 2 0 02				2						
	地学実験	RIK 2 0 04				2						
	物理学基礎	RIK 1 0 01	2									
	地学基礎	RIK 1 0 02	2									
	小学校理科教材論(化学・生物)	RIK 2 0 11				2						
	有機化学概論	RIK 2 0 12				2						
	力学基礎	RIK 3 0 11					2					
	電磁気学基礎	RIK 3 0 12					2					
	相対性理論	RIK 3 0 13					2					
	物理学実験	RIK 3 0 14					2					
	物理化学概論	RIK 2 0 13					2					
	無機・分析化学概論	RIK 3 0 15					2					
	生物化学概論	RIK 2 0 14					2					
	化学実験	RIK 3 0 16					2					
	発生生物学	RIK 3 0 17					2					
	分子生物学	RIK 3 0 18					2					
	地球物理学概論	RIK 3 0 19					2					
	天文学	RIK 3 0 20					2					
	地球史概説	RIK 3 0 21					2					
量子力学	RIK 3 0 22						2					
植物分類形態学	RIK 3 0 23						2					
昆虫学	RIK 3 0 24						2					
分子免疫学	RIK 3 0 25						2					
理科教材論実験	RIK 3 0 26						2					
自然観察法 I	RIK 3 0 41					2						
自然観察法 II	RIK 3 0 42					2						
地震学	RIK 3 0 43						2					
気象学	RIK 3 0 44						2					
卒業論文	RIK 4 7 02								⑥	6単位	6単位	
合 計											34単位	46単位

左の単位のほかに4単位修得すること。

左の単位のほかに16単位修得すること。

技術領域専攻

区分	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数		
			1回生		2回生		3回生		4回生		小主免	中主免	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専攻 専門 科目	電気基礎・実習	GJ2702				②					11単位	11単位	左の単位のほかに20単位修得すること。
	機械基礎・実習	GJ2703				②							
	木材加工法・実習	GJ1701		②									
	金属材料	GJ3701					②						
	情報基礎実験	GJ3702							①				
	栽培実習 I	GJ2701			②								
	製図	GJ1001	2								9単位		
	機械技術概論	GJ3001					2						
	力学応用	GJ2001				2							
	電気技術概論	GJ3002						2					
	電磁気学応用	GJ2002				2							
	栽培と環境	GJ3003						2					
	生物育成実習	GJ2003				1							
	情報通信ネットワーク	GJ2004				2							
	創造技術実習 I	GJ3011					2						
	創造技術実習 II	GJ4011							2				
	電気電子実験	GJ3012					1						
	機械工学実験	GJ3016							1				
	技術基礎 I	GJ1011	2										
	技術基礎 II	GJ1012		2									
	作物と環境	GJ3013					2						
	情報社会とセキュリティ	GJ2011			2								
	情報システム論	GJ3014					2						
	情報ネットワーク論	GJ3015					2						
	電気工学特講	GJ4012							2				
	機械工学特講	GJ4013							2				
	情報学特講 I	GJ4014							2				
	情報学特講 II	GJ4015							2				
	技術・栽培教育演習 I	GJ4016							2				
	技術科教育課題研究 I	GJ4017							2				
	電気工学演習	GJ4018								2			
	機械工学演習	GJ4019								2			
	情報学演習 I	GJ4020								2			
情報学演習 II	GJ4021								2				
技術・栽培教育演習 II	GJ4022								2				
技術科教育課題研究 II	GJ4023								2				
職業指導概論	GJ2012			2									
小学校技術教材論	GJ2013			2									
卒業論文	GJ4701								⑥	6単位	6単位		
合 計											34単位	46単位	

家庭領域専攻

区分	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数			
			1回生		2回生		3回生		4回生		小主免	中主免		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専攻 専門科目	生活経営論	KAT 1 7 01		②							12単位	12単位		
	衣生活概論	KAT 2 7 04			②									
	衣生活実習	KAT 2 7 01			①									
	食物学概論	KAT 1 7 02		②										
	食生活実習	KAT 2 7 02			①									
	住居学	KAT 2 7 03			②									
	保育学	KAT 2 7 05				②								
	家庭経済学	KAT 2 0 01				2					8単位	8単位	左の単位のほかに4単位修得すること。	左の単位のほかに16単位修得すること。
	家族関係学	KAT 3 0 01					2							
	被服科学	KAT 3 0 05						2						
	被服学実験・実習	KAT 3 0 02					2							
	食生活論	KAT 3 0 06						2						
	食品材料学	KAT 3 0 03					2							
	調理科学実験・実習	KAT 2 0 02				2								
	住まいの計画学	KAT 3 0 04					2							
	住生活と環境	KAT 1 0 01		2										
	家庭電気・機械	KAT 2 0 11			2									
	生活情報処理	KAT 3 0 14						2						
	生活工学	KAT 3 0 11						2						
	衣生活健康論	KAT 2 0 12				2								
	服装心理学	KAT 3 0 15						2						
	調理科学	KAT 3 0 16						2						
	食品化学	KAT 3 0 17						2						
	食品・栄養学実験	KAT 3 0 12					2							
	住生活デザイン演習	KAT 3 0 18						2						
	生活福祉学	KAT 3 0 13					2							
	生活経営・保育学演習Ⅰ	KAT 3 0 21						2			4単位	4単位		
	生活経営・保育学演習Ⅱ	KAT 4 0 21							2					
	衣生活演習Ⅰ	KAT 3 0 22						2						
	衣生活演習Ⅱ	KAT 4 0 22							2					
	食物学演習Ⅰ	KAT 3 0 23						2						
	食物学演習Ⅱ	KAT 4 0 23							2					
住居学演習Ⅰ	KAT 3 0 24						2							
住居学演習Ⅱ	KAT 4 0 24							2						
生活工学演習Ⅰ	KAT 3 0 25						2							
生活工学演習Ⅱ	KAT 4 0 25							2						
家庭科教育演習Ⅰ	KAT 3 0 26						2							
家庭科教育演習Ⅱ	KAT 4 0 26							2						
卒業論文	KAT 4 7 01								⑥	6単位	6単位			
合 計										34単位	46単位			

美術領域専攻(美術分野)

区分	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数		
			1回生		2回生		3回生		4回生		小主免	中主免	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専攻専門科目	素描	BJ1701	②								12単位	12単位	
	立体表現基礎	BJ1704		②									
	デザイン基礎	BJ1702	②										
	工芸基礎	BJ1705		②									
	美術史 I	BJ1703	②										
	美学概論 I	BJ1706		②									
	絵画演習	BJ2002				2					16単位	8単位	左の単位のほかに20単位修得すること。
	絵画表現	BJ3001					2						
	立体素材研究	BJ2003				2							
	塑造研究	BJ3002					2						
	デザイン I	BJ2004				2							
	デザイン II	BJ2005				2							
	色彩学	BJ1001	2										
	工芸理論	BJ2006				2							
	陶芸研究	BJ2001			2								
	工芸素材研究	BJ3003					2						
	美術史 II	BJ3004					2						
	日本画技法	BJ2012				2							
	日本画研究	BJ3017						2					
	絵画制作	BJ4011							2				
	現代美術	BJ3011					2						
	版画	BJ3012					2						
	彫造研究	BJ3013					2						
	立体表現研究	BJ4012							2				
	デザイン III	BJ3014					2						
	デザイン制作	BJ4013							2				
	コンピュータグラフィックス	BJ2011			2								
	工芸技法研究	BJ3015					2						
	金属工芸研究	BJ3018						2					
	木材工芸研究	BJ3019						2					
	工芸表現研究	BJ4014							2				
	美学概論 II	BJ3016					2						
	美学・美術史演習	BJ4015							2				
造形教育概論	BJ1021		2										
美術教育学演習	BJ4021							2					
図法・製図	BJ2021			2									
造形あそび	BJ2031			2									
陶芸技法と表現	BJ2032				2								
映像研究	BJ3031					2							
作庭実習	BJ3032						2						
楽器をつくろう	BJ2033			2									
卒業論文	BJ4701							⑥		6単位	6単位		
合 計										34単位	46単位		

美術領域専攻(書道分野)

区分	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数			
			1回生		2回生		3回生		4回生					
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専攻 専門科目	筆 技 基 礎	SHO 1 7 01		②									10単位	左の単位のほかに7単位修得すること。
	漢 字 か な 交 じ り 書	SHO 2 7 02				②								
	中 国 書 道 史 I	SHO 3 7 02						②						
	日 本 書 道 史 I	SHO 3 7 01					②							
	書 学 特 講	SHO 2 7 01			②									
	国 文 学 概 説	SHO 2 0 01				2							2単位	
	漢 文 学 概 説	SHO 2 0 02				2								
	漢 字 書 法 I	SHO 2 0 11				2							8単位	
	漢 字 書 法 II	SHO 2 0 13				2								
	か な 書 法 I	SHO 2 0 12				2								
	か な 書 法 II	SHO 2 0 14				2								
	基 本 書 法	SHO 3 0 11					2							
	漢 文 学 演 習 A	SHO 3 0 13						2						
	国 文 学 演 習 A	SHO 3 0 12						2						
	漢 字 書 法 III	SHO 3 0 21						2						
	か な 書 法 III	SHO 4 0 21								2				
	書 道 制 作 I	SHO 4 0 24									2			
	書 道 制 作 II	SHO 4 0 25									2			
	中 国 書 道 史 II	SHO 4 0 22								2				
	日 本 書 道 史 II	SHO 3 0 22							2					
	篆 刻	SHO 2 0 21				1								
	美 学 概 論 I	SHO 2 0 23				2								
	美 術 史 I	SHO 2 0 22				2								
造 形 教 育 概 論	SHO 3 0 23							2						
美 術 教 育 学 演 習	SHO 4 0 23								2					
卒 業 論 文	SHO 4 7 01									⑥		6単位		
合 計													33単位	

音楽領域専攻

区分	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数	
			1回生		2回生		3回生		4回生		小主免	中主免
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専攻 専門科目	ソルフェージュ	ONG 17 01	②								11単位	11単位
	声楽基礎演習	ONG 17 02	②									
	器楽基礎演習	ONG 17 03	②									
	指揮法 I	ONG 37 01					①					
	音楽史概論	ONG 27 01			②							
	作曲・編曲法基礎演習	ONG 17 04		②								
	ミュージックデザイン I	ONG 20 01			2						9単位	左の単位のほかに20単位修得すること。
	西洋音楽史	ONG 30 01					2					
	日本音楽史	ONG 20 02			2							
	民族音楽学	ONG 30 02					2					
	和楽器演習 I	ONG 10 01	2									
	声楽演習 I	ONG 20 03			2							
	声楽演習 II	ONG 20 05				2						
	鍵盤楽器演習 I	ONG 10 02		2								
	合奏研究 I	ONG 10 03		2								
	作曲 I	ONG 20 04			2							
	合唱 I	ONG 10 04		1								
	オペラ演習 I	ONG 10 05		2								
	ミュージックデザイン II	ONG 30 11					2					
	和楽器演習 II	ONG 10 11	2									
	和楽器演習 III	ONG 10 12	2									
	和楽器演習 IV	ONG 10 13		2								
	鍵盤楽器演習 II	ONG 20 11			2							
	合奏研究 II	ONG 20 12				2						
	指揮法 II	ONG 40 11							1			
	作曲 II	ONG 20 13				2						
	合唱 II	ONG 20 14				1						
	オペラ演習 II	ONG 20 15				2						
	音楽療法	ONG 20 16				2						
	声楽演習 III	ONG 30 12					2					
	鍵盤楽器演習 III	ONG 20 17				2						
	鍵盤楽器演習 IV	ONG 30 13					2					
	合奏研究 III	ONG 30 17						2				
作曲 III	ONG 30 14					2						
作曲 IV	ONG 30 18						2					
民族音楽学演習	ONG 30 15					2						
合唱 III	ONG 30 19						1					
合唱 IV	ONG 40 12							1				
オペラ演習 III	ONG 30 20					2						
オペラ演習 IV	ONG 40 13							2				
伴奏・重奏 I	ONG 30 21						2					
伴奏・重奏 II	ONG 40 14							2				
音楽実技指導 A	ONG 30 16					1						
音楽実技指導 B	ONG 30 22						1					
楽器をつくろう	ONG 20 18			2								
卒業論文	ONG 47 01							⑥		6単位	6単位	
合 計										34単位	46単位	

体育領域専攻

区分	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数							
			1回生		2回生		3回生		4回生		小主免	中主免						
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
専攻専門科目	運動学	TAI 3 7 01						②			8単位	左の単位のほかに4単位修得すること。	8単位	左の単位のほかに12単位修得すること。				
	生理学	TAI 2 7 01			②													
	衛生学及び公衆衛生学	TAI 3 7 02					②											
	学校保健	TAI 2 7 03				②					2単位		6単位					
	体育原理	TAI 3 0 01					2											
	学校体育マネジメント論	TAI 3 0 03						2										
	スポーツ社会学	TAI 3 0 02					2				8単位		8単位					
	スポーツ心理学	TAI 3 0 04						2										
	器械運動	TAI 2 7 02			①													
	陸上競技	TAI 1 7 04		①							8単位		8単位					
	水泳	TAI 1 7 01	①															
	バスケットボール	TAI 1 7 05		①														
	バレーボール	TAI 1 7 02	①								2単位		2単位					
	ベースボール型球技	TAI 1 7 03	①															
	武道	TAI 2 7 04				①												
	ダンス	TAI 2 7 05				①					2単位		2単位					
	救急処置及び看護	TAI 3 7 03					②											
	サッカークラス	TAI 1 0 11	1															
	テニス	TAI 3 0 16						1			34単位		46単位					
	ニュースポーツ	TAI 1 0 12		1														
	運動生理学	TAI 3 0 17						2										
	コンディショニング演習	TAI 4 0 11							2									
	スポーツ医学	TAI 3 0 18						2										
	スポーツ栄養学	TAI 3 0 19						2										
	体育実技指導実習	TAI 3 0 11					2											
	スポーツ指導実習	TAI 3 0 12						2										
	器械運動指導論	TAI 2 0 11				2												
	スポーツ指導論A	TAI 3 0 13					2											
	スポーツ指導論B	TAI 3 0 20						2										
	スポーツ情報論	TAI 4 0 12							2									
	武道指導論	TAI 3 0 21						2										
	コーチング論	TAI 3 0 22						2										
	バイオメカニクス	TAI 1 0 13		2														
障害者スポーツ演習	TAI 3 0 14					2												
スポーツ文化論	TAI 3 0 15						2											
体育・スポーツ指導者論	TAI 4 0 14							2										
発育発達論	TAI 4 0 13							2										
スポーツ倫理	TAI 2 0 13				2													
保健体育学演習I	TAI 3 7 04					②				4単位						4単位		
保健体育学演習II	TAI 3 7 05						②											
卒業論文	TAI 4 7 01								⑥	6単位						6単位		
合計															34単位		46単位	

情報に関する科目

授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数
		1回生		2回生		3回生		4回生		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
情報社会・情報倫理	JYO 2 1 02				②					12単位
コンピュータ・情報処理Ⅰ					②					
情報システム論					②					
情報通信ネットワーク				②						
マルチメディア表現	JYO 2 1 01			②						
マルチメディア技術	JYO 2 1 03			②						
情報社会とセキュリティ				2					8単位	
コンピュータ・情報処理Ⅱ						2				
プログラミング基礎Ⅰ				2						
プログラミング基礎Ⅱ					2					
情報ネットワーク論					2					
マルチメディア演習	JYO 3 0 01					2				
高1「情報」免許状取得のために修得しなければならない単位数										20単位

農業に関する科目

授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								最低修得単位数
		1回生		2回生		3回生		4回生		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
職業指導概論	NOU 3 1 01					②				4単位
農業実習Ⅰ	NOU 2 1 01			②						
農業実習Ⅱ	NOU 2 0 03				2				16単位	
園芸と環境Ⅰ	NOU 1 0 02		2							
園芸と環境Ⅱ	NOU 2 0 01			2						
環境園芸学実験実習	NOU 3 0 01					2				
環境園芸学演習Ⅰ	NOU 4 0 01						2			
環境園芸学演習Ⅱ	NOU 4 0 02							2		
植物組織培養論	NOU 2 0 02			2						
動物資源利用学	NOU 1 0 01	2								
植物分類形態学					2					
分子生物学					2					
昆虫学						2				
食品化学					2					
調理科学						2				
高1「農業」免許状取得のために修得しなければならない単位数										20単位

自由科目

教員免許以外の資格取得目的や、個々の興味や関心に応じて、履修することができます。

	授業科目名	授業科目 ナンバー	標準履修期及び単位数								履修要領		
			1回生		2回生		3回生		4回生				
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
資格関係科目	学校図書館司書教諭資格	学校経営と学校図書館	FRE 2 0 01						2			学校図書館司書教諭資格の取得については、次ページを参照してください。	
		学校図書館メディアの構成	FRE 2 0 02						2				
		学習指導と学校図書館	FRE 2 0 03							2			
		読書と豊かな人間性	FRE 2 0 04							2			
		情報メディアの活用	FRE 2 0 05							2			
外国語科目	講義科目	英語(プラクティカル)中級	FRE 1 0 21						1(前)			大学以外での学修の成果が本学が定める基準に達した場合、申し出により単位が認定されます。認定する基準等の詳細は、毎年度配布する「授業案内」を参照してください。	
		英語(プラクティカル)上級	FRE 1 0 22						1(後)				
		英語(アカデミック)中級	FRE 1 0 23						1(前)				
		英語(アカデミック)上級	FRE 1 0 24						1(後)				
		英語(会話)中級	FRE 1 0 25						1(前)				
		英語(会話)上級	FRE 1 0 26						1(後)				
	資格検定	英語(資格検定)								2(前又は後)			
		フランス語(資格検定)Ⅱ								2(前又は後)			
		フランス語(資格検定)Ⅲ								2(前又は後)			
		ドイツ語(資格検定)Ⅱ								2(前又は後)			
国際教育関係科目	短期留学	国際教育体験実習	FRE 1 0 51						1(前)			本学が主催する上海師範大学での短期研修に参加し、所定の成績を修めた場合、単位が認定されます。	
		異文化理解研修(中国)	FRE 1 0 52						1(前)				
		異文化理解研修(韓国)	FRE 1 0 53							1(通)			本学が主催する春川教育大学校との短期研修に参加し、所定の成績を修めた場合、単位が認定されます。
	異文化交流	異文化交流研修(カナダ)	FRE 1 0 61							1(前)			カナダ・ケベック大学モントリオール校の学生との研修に参加し、所定の成績を修めた場合、単位が認定されます。
		共修科目	世界の教育A	FRE 2 0 71			2						「世界の教育A」及び「世界の教育B」は、日本人学生も履修できます。(留学生との共修科目)
			世界の教育B	FRE 2 0 72				2					
高度化コース科目	6年制教員養成	6年制コースゼミⅠ	FRE 2 0 81						2(通)			6年制教員養成高度化コース所属者のみ履修可	
		6年制コースゼミⅡ	FRE 2 0 82							2(通)			

◎学校図書館司書教諭資格取得に関する履修について

学校図書館司書教諭の資格は、学校図書館司書教諭講習修了者が文部科学省へ申請することにより講習「修了証書」の交付を受けることができる資格ですが、本学で開講している所定の単位を講習で修得した単位としてみなすことができます。

学校図書館司書教諭講習「修了証書」の交付申請の手続きについては、掲示により通知します。

1. 学校図書館司書教諭の資格を取得しようとする者は、自由科目に設置されている次の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

学校経営と学校図書館	2単位
学校図書館メディアの構成	2単位
学習指導と学校図書館	2単位
読書と豊かな人間性	2単位
情報メディアの活用	2単位
2. 学校図書館司書教諭の資格を取得しようとする者は、次のいずれかに該当する必要がある。
 - ①小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教諭の普通免許状を有する者。
 - ②大学に2年以上在学する学生で62単位以上を修得した者。(注) ②の場合は、①の教諭の普通免許状を取得することにより資格の効力が有することになる。
3. 第1項及び第2項を満たした場合に、学校図書館司書教諭講習「修了証書」の交付を申請することができる。
4. 「修了証書」は、交付申請した翌年の3月に文部科学省から大学に届きます。

なお、「修了証書」に記載される交付日付は、例年、交付申請した年の翌年の1月頃となっています。